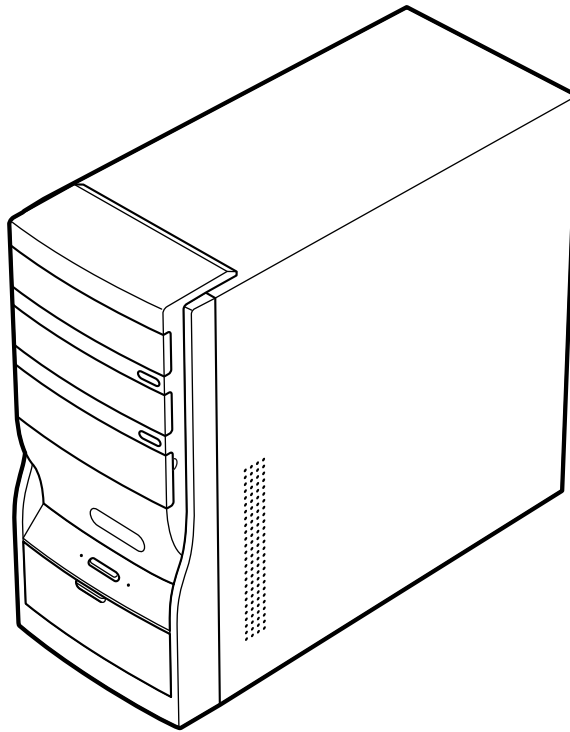


ValueOne MT

ユーザーズマニュアル



ValueOne



PART

1

このマニュアルの表記について	2
ご注意	6
安全にお使いいただくために	8

PART

2

このパソコンについて	19
パソコンを使う準備をする	20
お客様登録のお願い	21
CD-ROM や DVD の扱い方	23
Sleep ボタンについて	24
再セットアップ	25
再セットアップを始める前に	26
再セットアップする (C ドライブのみ)	30
C ドライブの領域を変更して再セットアップする	38
再セットアップ用 DVD/CD-ROM を作成する	40
再セットアップ用 DVD/CD-ROM を使って再セットアップする	43

PART

3

トラブル解決 Q&A	47
トラブル解決への道	48
「サポートナビゲーター」でトラブル解決	49
パソコンの様子がおかしい	50
マウス、キーボード	52
電源のトラブル	53
省電力機能	59
パスワード	60
その他	62

付 録	63
RAID 機能について (RAID モデルのみ)	64
パソコンのお手入れ	72
アフターケアについて	75
パソコンの譲渡、廃棄、改造について	76
仕様一覧	80
修理チェックシート	89

このマニュアルの表記について

◆手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側の注意には、操作に関連する補足説明や参照情報などが記載されています。はじめてパソコンを扱うかたは、右側の説明もよく読んでください。

◆このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

障害や事故の発生を防止するための禁止事項は、次のマークで表しています。



一般禁止
その行為を禁止します。



接触禁止
特定場所に触れることで傷害を負う可能性を示します。



水ぬれ禁止
水がかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用すると漏電による感電や発火の可能性を示します。



火気禁止
外部の火気によって製品が発火する可能性を示します。



分解禁止
分解することで感電などの傷害を負う可能性を示します。



ぬれ手禁止
ぬれた手で扱うと感電する可能性を示します。

障害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。



使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

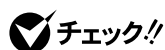


電源コードのプラグを抜くように指示するものです。



アース線を必ず接続するように指示するものです。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。



パソコンで起きている問題点に対して対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものを探してください。



参考になる事柄です。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】 【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

DVD/CDドライブ

DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ (DVD-R/+R 2層書込み)、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、およびCD-ROMドライブを指します。

「サポートナビゲーター」

電子マニュアル「サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートナビゲーター」は、デスクトップの  (困ったときのサポートナビゲーター) をダブルクリックして起動します。

「サポートナビゲーター」-「使いこなす」

「サポートナビゲーター」を起動して、ソフトの操作方法などを参照することを示します。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

このページの表をご覧ください。ご購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン	表の各モデル（機種）を指します。
液晶ディスプレイ セットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW (DVD-R/+R 2層書 込み) モデル	DVD/CDドライブにDVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ (DVD-R/+R 2層書込み) (DVDスーパーマルチドライブ (DVD-R/+R 2層書込み)) を搭載しているモデルのことです。
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	DVD/CDドライブにCD-R/RW with DVD-ROMドライブ (マルチブレードドライブ) を搭載しているモデルのことです。
CD-ROMモデル	DVD/CDドライブにCD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
RAIDモデル	RAID機能を搭載しているモデルのことです。
Windows XP Professionalモデル	Microsoft® Windows® XP Professionalがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Windows XP Home Editionモデル	Microsoft® Windows® XP Home Editionがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2003モデル	Office Personal 2003またはOffice Professional 2003があらかじめインストールされているモデルのことです。
Office Personal 2003モデル	Office Personal 2003があらかじめインストールされているモデルのことです。
Office Professional 2003モデル	Office Professional 2003があらかじめインストールされているモデルのことです。

シリーズ名	型名 (型番)	表記の区分					
		ディスプレイ	スピーカ	RAID 機能	OS	DVD/CDドライブ	添付ソフト
ValueOne MT	MT850/3A (PC-MT8503A)	—	外付けステレオスピーカ添付モデル	RAID モデル	Windows XP Home Edition モデル	DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW (DVD-R/+R 2層書 込み) モデル	—
	MT800/3A (PC-MT8003A)						
	MT600/3A (PC-MT6003A)						
	MT470/3D (PC-MT4703D)	液晶ディスプレイ セットモデル (17型 液晶 [F17R6A])	— (添付の液晶ディスプレイに内蔵)	—			Office Personal 2003モデル
	MT400/3A (PC-MT4003A)	—	外付けステレオスピーカ添付モデル				—
	MT200/3A (PC-MT2003A)						
	MT100/3A (PC-MT1003A)						

◆本文中の画面やイラスト、ホームページについて

本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。

記載しているホームページの内容やアドレスは、本冊子制作時点のものです。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、 Windows XP、 Windows XP Home Edition	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 2
Windows、 Windows XP、 Windows XP Professional	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 2
Windows Me、 Windows Millennium Edition	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 98 Second Edition	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Office Personal 2003	Microsoft® Office Personal Edition 2003 (Microsoft® Office Word 2003, Microsoft® Office Excel 2003, Microsoft® Office Outlook® 2003, Microsoft® Office Home Style ⁺)
Office Professional 2003	Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003 (Microsoft® Office Word 2003, Microsoft® Office Excel 2003, Microsoft® Office Outlook® 2003, Microsoft® Office PowerPoint® 2003, Microsoft® Office Access 2003, Microsoft® Office Publisher 2003, Microsoft® Office InfoPath™ 2003)
Outlook、 Outlook 2003	Microsoft® Office Outlook® 2003
マカフィー・ ウイルススキャン	マカフィー®・ウイルススキャン
DigitalMedia	Roxio DigitalMedia SE 7

ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® XP Professionalまたは、Microsoft® Windows® XP Home Edition、および本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご利用ください。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9)ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、Windows、DirectX、Windows Media および Windows のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Roxio DigitalMedia は、米国 Sonic Solutions 社の登録商標です。

McAfee、VirusScan、マカフィーは米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の登録商標です。

121 ポップリンクは、日本電気株式会社の登録商標です。

Intel、インテル、Celeron、Intel Inside ロゴは、Intel Corporation の商標または登録商標です。

PS/2 は IBM 社が所有している商標です。

SD および miniSD ロゴ、および  ロゴは商標です。

"MagicGate Memory Stick" ("マジックゲートメモリースティック") および "Memory Stick" ("メモリースティック")、**MEMORY STICK**、、**MEMORY STICK PRO**、**MEMORY STICK DUO**、"MagicGate" ("マジックゲート")、**MAGICGATE** はソニー株式会社の商標です。

、「xD-ピクチャーカード™」は富士写真フイルム（株）の商標です。

SmartMedia (スマートメディア) は、株式会社 東芝の登録商標です。

CompactFlash (コンパクトフラッシュ) は、SanDisk Corporation 社の登録商標です。

Microdrive は、IBM の商標です。IBM は、IBM Corporation 社の登録商標です。

MNP は、Microcom, Inc. の登録商標です。

Hayes は、米国 Hayes Microcomputer Products の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd. 2006

日本電気株式会社、NEC パーソナルプロダクツ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はありません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*¹ will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*¹ does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*¹: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

安全にお使いいただくために

安全上のご注意（警告事項）

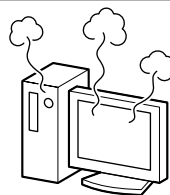
■本体使用上の警告

警告



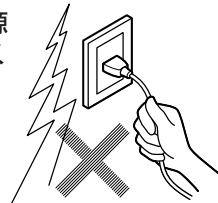
- 煙や異臭、異常な音、手で触れないほど熱いときは、すぐに本機の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。バッテリーパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。

そのまま使用すると、火災、やけど、感電のおそれがあります。内部の点検・調整は、NEC 121 コンタクトセンターにお問い合わせください。



- 雷が鳴り出したら、本機や本機に接続されているケーブル類（電源コード、AC アダプタ、USB ケーブルなど）に触れたりしないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。

落雷による感電のおそれがあります。



- ビニール袋などの梱包材料は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない安全な所に保管してください。

窒息事故などを起こすおそれがあります。



- 不安定な場所に置かないでください。

落下してけがをするおそれがあります。



- 本機を改造、分解しないでください。

感電、発煙、発火の原因になります。



- 本製品を火中に投入、加熱、あるいは端子をショートさせたりしないでください。

発熱、発火、破裂の原因になります。



- 本製品の内部に次のような異物を入れないでください。

・ 金属物 ・ 水などの液体
・ 燃えやすい物質 ・ 薬品

回路がショートして火災の原因になります。



- 装置の通風孔をふさがないでください。

内部に熱がこもり、発煙、発火の原因になることがあります。



■電源、電源コード、ACアダプタ使用上の警告

警告

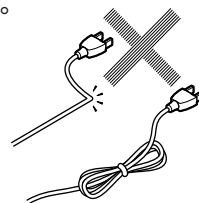


- 電源はAC100V (50/60Hz) を使用してください。
異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因になります。



- 電源コード、ACアダプタを取り扱う際は、次の点をお守りください。

- ・ 落下させたり衝撃を与えない
 - ・ 折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しない
 - ・ つけ根部分を無理に曲げない
 - ・ 重いものを載せない
 - ・ 布などでくるまない
 - ・ 屋外で使用しない
 - ・ 水などの液体がかかる場所では使用しない
- 発煙、発火、火災、感電の原因になります。



- 破損した電源コードは使用しないでください。

電源コードが破損した場合に、テープなどで修復して使用しないでください。
修復した部分が過熱し、火災や感電の原因になります。



- 電源コード、ACアダプタのプラグにホコリがたまっただまの状態では本機を使用しないでください。

電源コード、ACアダプタのプラグにホコリがたまっただま使用していると、プラグのピンの中で放電（トラッキング現象）が起こり、火災の原因になります。



- 電源コードは、装置添付のものを使用し、そのプラグを、壁や床に設置されている定格 100V のコンセントに直接差し込んでください。また、装置添付の電源コードを他の機器には使用しないでください。

やむを得ず、お客様の責任で延長コード等をご利用になる場合は、二重絶縁（二重被覆）のものを定格の範囲内で使用し、以下の項目に十分注意するようにしてください。

- ・ 落下させたり衝撃を与えない
- ・ 折れ曲がった状態で使用しない
- ・ つけ根部分を無理に曲げない
- ・ 重いものを載せない
- ・ 布などでくるまない
- ・ 屋外で使用しない
- ・ 水などの液体がかかる場所では使用しない
- ・ 破損したコードを使わない
- ・ プラグにホコリがたまっただまの状態で使用しない
- ・ 奥までしっかり差し込む
- ・ プラグ部をコンセントに正しく挿入する
- ・ コンセントから抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く
- ・ ぬれた手で触らない

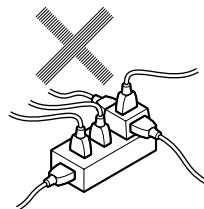
延長コード等は、使用方法によっては発煙、発火、火災、感電の原因になることがありますので十分ご注意ください。

警告



- タコ足配線にしないでください。

電源コードをタコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因になります。



- アース線は、絶対にガス管につながないでください。

火災の原因になります。



- アース線の金属部をコンセントとプラグの間にはさまないでください。

またアース線の金属部をコンセントの差込口に差し込まないでください。

感電の原因になります。



- 本体またはスピーカの AC アダプタは、指定の AC アダプタを使用し、AC アダプタを分解、改造しないでください。

指定以外の AC アダプタを使用したり、分解、改造して使用すると、感電、発煙、発火の原因になります。



- 電源コード、AC アダプタ等の接続の際は、次の点をお守りください。

- ・ 差込部は正しい向きで接続する
- ・ 奥までしっかり差し込む
- ・ プラグ部をコンセントに正しく挿入する
- ・ コンセントから抜くときは、必ずプラグ部を持って抜く

発煙、発火、火災、感電の原因になります。



- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

絶縁劣化による漏電火災の原因になります。

■周辺機器使用上の警告

警告



- 周辺機器は、マニュアルに記載の手順に従って正しく取り付けてください。

正しく取り付けられていないと、発煙、発火の原因になります。

安全上のご注意（注意事項）

■本体使用上の注意

注意



● 本製品を次のような場所では使用・保管しないでください。

- ・ 風呂場など湿気の多い場所
- ・ 調理台や加湿器のそばなど水、湿気、湯気、塵、油煙などの多い場所

感電の原因になります。万一液体が入った場合は、電源をオフにして NEC 121 コンタクトセンターにお問い合わせください。乾いているようでも本機内部に水分が残っていることがあります。



● 前面カバーを開けた状態で使用する場合は、十分注意してください。

前面カバーに強くぶつかったときにけがの原因になることがあります。ケーブル等を接続したり、一部のPCカード等を取り付けたりした状態では、カバーを閉じられません。この場合はカバーを開けたまま使用してください。



● 通風孔からの送風に注意してください。

通風孔からの排気は室温よりも高い温度となっております。通風孔からの送風に長時間当たることにより、低温やけどのおそれがありますので、肌の弱い方などは特にご注意ください。



● DVD/CDドライブのトレイはイジェクトボタンを押さなくても、ソフトウェアの動作などで本体から出てくることがあるため注意してください。

DVD/CDドライブのトレイにぶつかったり手や足をひっかけたりすると、けがの原因になります。



● DVD/CD ドライブは絶対に分解しないでください。

故障、発熱、破損、感電の原因になります。



● DVD/CD ドライブなどのレーザー光源を直接見ないでください。

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。



● 添付のCD-ROM・DVD-ROMディスクは、CD-ROM・DVD-ROM 対応プレイヤー以外では絶対に使用しないでください。

大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカやCD-ROM・DVD-ROMディスクを破損する原因になります。



● フロッピーディスクイジェクトボタンは指の腹の部分で押しってください。

爪の先でフロッピーディスクイジェクトボタンを押すと、爪と指先の間にフロッピーディスクイジェクトボタンが入ってけがの原因になります。



● 内蔵のFAXモデムは、一般の電話回線のに接続してください。

一般の電話回線以外に接続した場合、故障、発熱、破損の原因になります。

⚠ 注意

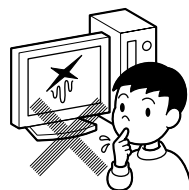


- 先のとがったもので液晶ディスプレイ表面に傷を付けないでください。



- 液晶ディスプレイ表面や外枠部分を強く押さないでください。
- 液晶ディスプレイ内部の液体を口に入れないでください。また、内部の液体に触れないでください。

液晶ディスプレイが破損して内部の液体が口に入った場合は、すぐにうがいをしてください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄し、直ちに医師にご相談ください。



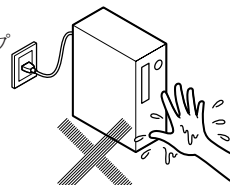
■電源、電源コード、ACアダプタ使用上の注意

⚠ 注意



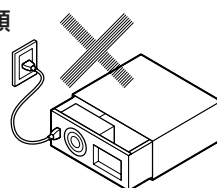
- ぬれた手で触らないでください。

電源コードがコンセントに接続されているときにぬれた手で本体やACアダプタなどに触ると、感電の原因になります。



- 電源コードがコンセントに接続されているときは、本体のカバー類を外さないでください。

感電の原因になります。



- 本体へ必ずアース線を接続してください。

アース線を接続しないと、感電の原因になります。



- アース線の接続や取り外しを行うときは、必ず本体および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いてください。

感電の原因になります。



- お手入れの前には、必ず本機や周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

電源を切らずにお手入れをはじめると、感電の原因になります。

■周辺機器使用上の注意

注意



- 周辺機器の取り付け／取り外しを行うとき、特に本体内部に手を入れるときは、指をはさんだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。
けがの原因になります。



- このパソコンの使用直後に本機のカバーを開けて、周辺機器の取り付けや取り外しをするときは、CPU や CPU の周辺、ヒートシンク（放熱板）に触れないでください。

CPU、CPU の周辺、ヒートシンク（放熱板）が高温になっていますので、手を触れるとやけどをするおそれがあります。電源を切った後、30分以上たってからおこなうことをおすすめします。



- 電話回線ケーブル（モジュラケーブル）の取り外しや接続を行うときは、モジュラコンセントの端子部分に触れないでください。

電話がかかってくると電話回線上に電圧がかかるため、電話回線ケーブルを抜いたときにモジュラコンセントの端子に触れると感電のおそれがあります。

■健康上の注意

注意



- ディスプレイを長時間継続して見ないでください。

ディスプレイなどの画面を長時間継続して見続けると、目が疲れたり、視力が低下することがあります。ディスプレイなどの画面を見続けて、身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師にご相談ください。



- キーボードやマウス、トラックボールを長時間継続して使用しないでください。

キーボードやマウス、トラックボールを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなることがあります。キーボードやマウス、トラックボールを使用中、身体の一部に痛みや不快感が生じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。

万一、休息しても痛みや不快感が取れないときは、直ちに医師にご相談ください。



- ヘッドフォンやヘッドホンマイクを使う場合は、音量を上げすぎないように注意してください。

大きな音量で長時間使うと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- ヘッドフォンやヘッドホンマイクを装着した状態でプラグの抜き差し、本機の電源のオン／オフ、省電力状態／復帰の操作をしないでください。

聴力に悪い影響を与えることがあります。



製品保護上のご注意

■本機の取り扱い上の注意

● 次のような場所では、使用／保管しないでください。

誤動作や故障の原因になることがあります。

ホコリが多い場所／衝撃や振動が加わる場所／不安定な場所／暖房器具の近く／磁気を発するもの（扇風機や大型のスピーカ、温風式こたつなど）の近く／長時間直射日光が当たる場所／落下の可能性がある場所／テレビ、ラジオ、コードレス電話などの近く／熱のこもる場所／水分や湿気の多い場所／夏の閉めきった自動車内

● 本機は屋内で使用してください。

● 次の環境で使用してください。

温度 10℃～35℃、湿度 20%～80%（結露しないこと）

● 本機を使用する際は、次のことに気をつけてください。

- ・ 落としたりぶつけたりしないよう、平らで十分な強度がある場所で使用してください。
- ・ 結露した状態で使用しないでください。寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着（結露）し、誤動作、故障の原因になることがあります。
- ・ 本機の上にものを載せないでください。また、書類や布などで通風孔をふさがないでください。
- ・ 本機のそばで、飲食や喫煙をしないでください。
- ・ 本機を改造しないでください。当社の保証やサービスの対象外となることがあります。
- ・ DVD ディスクや CD ディスクにデータを記録中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。
- ・ 静電気に注意してください。本機は静電気によって故障、破損することがあります。本機に触れる前にアルミサッシやドアのノブなどの身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除くようにしてください。

● 本機を移動するときには、必ず電源を切り、電源コード、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。

● 本機を移動するときには、DVD ディスクや CD ディスクなどを取り出してください。

本機の故障や、DVD ディスクや CD ディスクなどの破損の原因になります。

● 長時間使用しないときは、電源コード、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。

旅行などで長時間お使いにならないときは、安全のため、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

● 本機に接続されている周辺機器を取り外すときには、必ず接続ケーブルのプラグ部分を持って抜いてください。また、プラグを抜く際は、無理に引き抜いたりこじったりしないでください。

ケーブルを引っばって取り外したり、プラグを無理に引き抜いたりすると、故障の原因になることがあります。

● ケーブル類は整理してください。

ケーブルを整理しておかないと、つまずいたりひっかけたりして、本機の故障の原因になります。

■ハードディスク取り扱い上の注意事項

● 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。

● 電源を入れたまま本機を動かさないでください。

● 本機のハードディスク動作中は本機に衝撃や振動を与えないよう、特に注意してください。

ハードディスク動作中に外部から強い衝撃を加えると、データが失われるだけでなく、ハードディスクが故障することがあります。

● 本機のハードディスク動作中は、電源を切ったり再起動しないよう、特に注意してください。

ハードディスク動作中に電源を切ったり再起動すると、ハードディスクが故障することがあります。

■データのバックアップについて

● バックアップとは

パソコンに保存されているデータをDVDディスク、CDディスク／フロッピーディスク／外付けハードディスクなどに複製（コピー）することを「バックアップを取る」といいます。

パソコンの故障などの異常が起きてご購入後に作成したデータが消えてしまった場合、そのデータをもとに戻すことはできません。

万一の事態に備えて定期的にデータのバックアップをおこない、大切なデータを保護しましょう。

● バックアップを取るタイミング

特に大切なデータは、作成したり更新したりするたびにバックアップを取ることをおすすめします。また、日時や曜日を決めて定期的にバックアップを取るのもよいでしょう。

■コンピュータウィルスの予防について

● コンピュータウィルスとは

コンピュータウィルスとは、パソコンの動作に悪影響を与える不正なプログラムのことで、インターネットや電子メールなどを通じて感染する可能性があります。コンピュータウィルスに感染すると、パソコンのプログラムやデータが破壊されるばかりでなく、他のパソコンへの感染元となってしまう可能性もあります。

モデルによってはコンピュータウィルスの予防と駆除をするためのソフトが添付されていますので、定期的なチェックをおこなうことをおすすめします。

また、日々増え続けるウィルスに対応するためには、「ウィルス定義ファイル」の更新が必要です。

■DVDディスク、CDディスク取り扱い上の注意事項

● DVDディスク、CDディスクを取り扱う際は次のことに気をつけてください。

- ・ データ面（文字などが印刷されていない面）に手を触れないでください。
- ・ ディスクにラベルを貼ったり、傷を付けたりしないでください。
- ・ ディスクに文字を書く場合はディスク印刷面（レーベル面）に書いてください。ボールペンや鉛筆などペン先が硬いものは避け、フェルトペンなどペン先が柔らかい油性の筆記用具で手書きをするか、インクジェットプリンタ対応のディスクを使用して、インクジェットプリンタで直接印刷してください。
- ・ 上に重いものを載せたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- ・ 汚れたDVDディスク、CDディスクは使わないでください。
- ・ 汚れたときは、やわらかい布で内側から外側に向けてふいてください。
- ・ 清掃の際はCD専用のスプレーをお使いください。
- ・ ベンジン、シンナーなどでふかないようにしてください。
- ・ ゴミやホコリの多い場所での使用は避けてください。
- ・ 使わないときは収納箱に入れて保管してください。
- ・ 直射日光の当たる場所や、温度の高い場所に保管しないでください。

■フロッピーディスク取り扱い上の注意事項

●フロッピーディスクを取り扱う際は次のことに気をつけてください。

- ・フロッピーディスクを磁石に近づけないでください。フロッピーディスクが壊れると大切なデータやソフトウェアが使えなくなります。磁石はテレビやスピーカにも使われています。これらの上にフロッピーディスクを置いたりしないようにしてください。
- ・シャッターを開けて、中のディスクに触れないでください。
- ・汚れたフロッピーディスクは使わないでください。
- ・フロッピーディスクにラベルを貼り付けた状態でラベルに鉛筆で記入したり、消しゴムを使ったりしないでください。
- ・上に重いものを載せたり、曲げたりしないでください。
- ・ラベルは正しい位置に貼ってください。
- ・飲食、喫煙しながら使わないでください。
- ・溶剤類、飲み物などを近づけないでください。
- ・クリップなどではさんだり、投げたり、落としたりしないでください。
- ・ゴミやホコリが多い場所での使用は避けてください。
- ・使わないときは収納箱に入れて保管してください。
- ・直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所、ゴミやホコリが多い所に置かないでください。

■メモリーカード取り扱い上の注意

●メモリーカードを取り扱う際は次のことに気をつけてください。

- ・メモリーカードに添付の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
- ・静電気による故障を防ぐため、静電気を放電してからメモリーカードを取り扱ってください。
- ・小型のメモリーカードなど、アダプタが必要なカードは、必ずアダプタを装着してください。
- ・メモリーカードは、方向を確かめて取り付けてください。
- ・メモリーカードスロットには、対応以外のメモリーカードを挿入しないでください。
- ・メモリーカードの読み込み／書き込み中は、本体や周辺機器のメモリーカードスロットからメモリーカードを取り出さないでください。
- ・メモリーカードやメモリーカードスロットの金属端子部分を触らないでください。
- ・汚れたメモリーカードは、汚れをとってから本体や周辺機器のメモリーカードスロットに取り付けてください。
- ・分解しないでください。
- ・上に重いものを載せたり、曲げたりしないでください。
- ・溶剤類、飲み物などを近づけないでください。
- ・クリップなどではさんだり、投げたり、落としたりしないでください。
- ・ゴミやホコリが多い場所での使用は避けてください。
- ・使わないときは収納箱に入れて保管してください。
- ・直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所、ゴミやホコリが多い所に置かないでください。
- ・長期間使用しないときは、メモリーカードやアダプタを、メモリーカードスロットに取り付けたままにしないでください。
- ・メモリーカードには、添付の指定ラベル以外を貼らないでください。
- ・大切なデータはハードディスクなどにコピーして、バックアップを取ってください。

健康のために

パソコンを使った作業では、長時間同じ姿勢になりやすいため、他の一般事務作業にくらべて次のような症状が起こりやすいと言われています。

- ・眼が疲れたり、重く感じる
- ・ものがぼやけてみえる
- ・疲れやすい
- ・頸（くび）から肩、手の指にかけて、しびれたり全体的に痛みを感じたりする

このような症状の感じかたは、作業時間や使用状況などにより個人差が大きいと言われています。次のことを心がけるようにしましょう。

- ・1時間の作業につき10～15分の休憩時間をとる
- ・休憩時には、軽い体操をするなど、気分転換をはかる

万一、疲労が翌日まで残るような場合は、早めに医師に相談してください。

■良い作業姿勢をとしましょう

パソコンを使用する際の良い姿勢は、余分な力が入らない、リラックスできる姿勢と言われています。

- ・背もたれに背中が支えられるよう背すじを伸ばして椅子に座る
- ・両手を床とほぼ平行にキーボードに置く
- ・画面を目の高さより低くし、視線がやや下向きになるようにする



■機器をこまめに調節しましょう

機器の調節ができる場合は、使いやすい状態にこまめに調節してください。

● ディスプレイの角度調節

本機にセットのディスプレイは、上下、左右の角度調節ができるようになっています（一部のディスプレイを除く）。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくするために、ディスプレイの角度を調節することは大変重要です。角度調節について詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

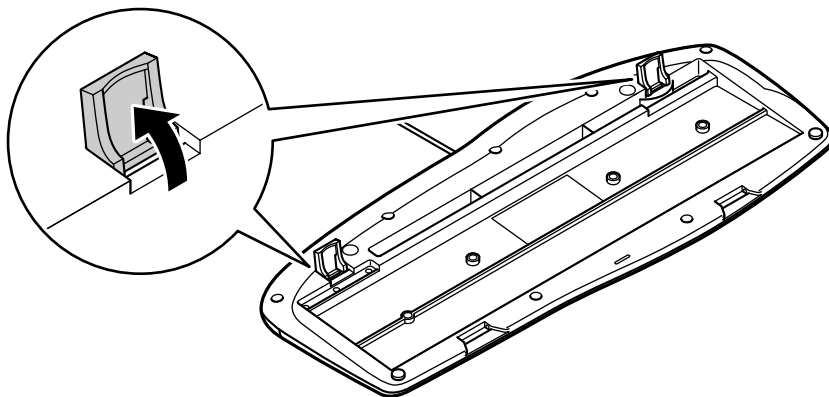
● 画面の輝度（明るさ）・コントラスト（濃淡）調節

個人差、周囲の明るさなどによって、画面の最適な輝度・コントラストは異なります。そのため、画面の輝度・コントラストは、状況に応じて見やすいようにこまめに調節することが必要です。
詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

● キーボードの角度調節

機種によっては、キーボードの角度調節ができるようになっています。好みによって、入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕への負担を軽減するのに大変有効です。

キーボードの角度調節をするときには、足を必ず両方とも立てて使用してください。



キーボード裏面

■機器を清掃しましょう

ディスプレイの画面は、ホコリなどで汚れると表示内容が見にくくなる原因になりますので、定期的に清掃する必要があります。

■本機のお手入れ

本機のお手入れの方法については、このマニュアルの付録をご覧ください。

P A R T

1

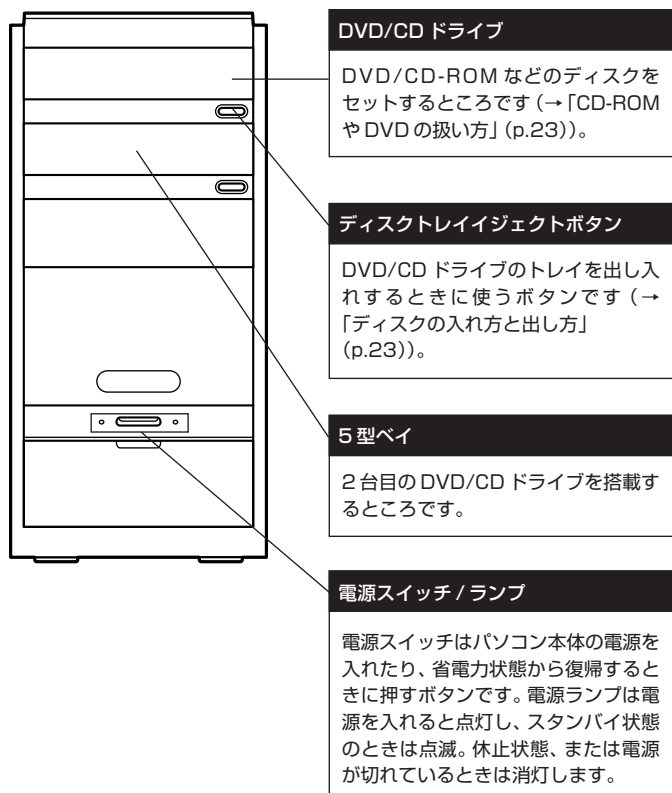
このパソコンについて

『セットアップシート』を使ってセットアップが終わったら、いよいよ本格的にパソコンを使い始めます。使い始める前に是非、「お客様登録」をしてください。

パソコンを使う準備をする

このパソコンの添付品の確認、接続、およびセットアップについては、『セットアップシート』をご覧ください。
ここでは、このパソコンの電源スイッチ、DVD/CDドライブなどについて紹介します。

●本体前面



📖 参照

パソコン各部の説明について→ 📖「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「各部の名称と役割」

📖 参照

5型ベイへのDVD/CDドライブの取り付け方について→ 📖「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコン内部に取り付ける」-「5 型ベイ」

お客様登録のお願い

お客様登録はこれからパソコンを安心・快適にお使いいただく上で非常に重要です。NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com (ワントゥワンウェア・ドット・コム)」では、お客様登録されたかたに充実したサポート・サービスを提供しております。この機会に是非ご登録ください。

※ 法人のお客様としてご使用の場合も、ご登録をおすすめします。

登録料・会費無料

ご登録の特典

特典 1 電話サポート

商品についての電話相談窓口「121 コンタクトセンター」をご利用いただけます。

詳しくは『121ware ガイドブック』をご覧ください。

特典 2 メールサービス

ご利用製品のサポート情報やキャンペーンのご案内などをメールマガジンでお届けいたします。

詳しくは『121ware ガイドブック』をご覧ください。

特典 3 インターネットサポート

121ware.comで「ログインID」を取得していただきますと、さまざまなサポート・サービスをご利用いただけます。詳しくは『121ware ガイドブック』をご覧ください。

ログインIDは、「121ware.com」(<http://121ware.com/>)およびNECショッピングサイト「NEC Direct」(<http://www.necdirect.jp/>)

で共通にご利用いただけるIDです。取得方法については『121ware ガイドブック』をご覧ください。

◆ 121ware.com でご利用いただけるサポート・サービス

ログインIDを ご登録いただくと…	お客様とNECとの コンタクト履歴 がわかる！	電話サポートが よりつながりや すく！	買い取りサービ スの申し込みが できます！	
ログインIDと E-mailアドレスを ご登録いただくと…	121オリジナル メールマガジン をお届け！	「NEC Direct」※ でお得にお買い物！	※ 日本電気(株)が運営するショッピング サイトです。	
ログインIDと 保有商品を ご登録いただくと…	保有商品の情 報をすばやく GET！	保有商品に関 するQ&A情報 をすばやくGET！	保有商品に合 うモジュールを すばやくGET！	パソコンを最新 の状態に！「自動 アップデート」
ほかにもいろいろな サービスが！	インターネットから 電話サポート 予約サービス！	お役立ち情報 フォローアップ メールサービス！		

最新情報・詳細につきましては、インターネットでご確認ください。

お客様登録の方法

お客様登録をして、電話の問い合わせのときに必要な「121wareお客様登録番号」と、インターネットサポート・サービスをご利用になる際に必要な「ログインID」を取得してください。
ご登録いただくことでお客様に合ったサポート・サービスをご提供させていただきます。

インターネットによる登録をおすすめします。
「121wareお客様登録番号」と「ログインID」を同時に取得でき、すぐにインターネットサポートが受けられます。
まだインターネットをお使いになれないお客様にはFAX登録をご用意しております。ただし、FAX登録からでは「121wareお客様登録番号」のみの取得となり、インターネットでのさまざまなサービスがご利用いただけません。
インターネットが使えるようになり次第、「ログインID」の取得をおすすめします。

インターネット登録（推奨）

インターネットに接続して、NEC パーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」のマイアカウント(<http://121ware.com/my/>)から登録します。詳しくは、『121ware ガイドブック』をご覧ください。

FAX 登録

お手持ちのFAXから「0120-977-121」（フリーコール）に電話します。
ご希望の窓口案内のアナウンスが流れますので、FAX情報サービス窓口番号である9番を押します。
FAX情報サービスにつながりますので、アナウンスにしたがい、BOX番号3002と#を押し、お客様登録用紙を取り出してください。必要事項をご記入の上、FAXでお送りください。

チェック!!

登録の前に、インターネット接続の設定が必要です。

FAX用紙はNECパソコン情報FAXサービスから取り出してください。
電話番号はよくお確かめになり、お間違えのないようおかけください。

CD-ROM や DVD の 扱い方

このパソコンのDVD/CDドライブで使えるディスクの種類や取り扱い上の注意、ディスクのセットのしかたを説明します。

ディスクの取り扱い上の注意

- ・ 使用後は、収納ケースに入れるようにしてください。
- ・ ラベルやテープが貼られているなど、重心バランスの悪いディスクを使用すると、使用時の振動や故障の原因になります。
- ・ Windows 95/98/Me対応のCD-ROMは、このパソコン (Windows XP) で使えないものがあるため、ご購入前に確認してください。
- ・ Macintosh 専用と表示された CD-ROM は使えません。

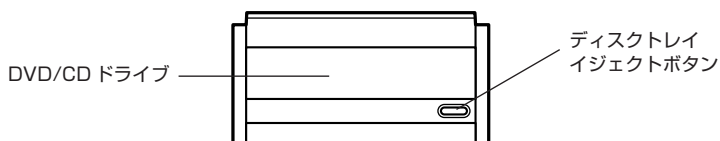


このパソコンで使えるディスクについて→ ②「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「DVD/CD ドライブ」

ディスクの入れ方と出し方

●ディスクを入れる方法

1 ディスクトレイジェクトボタンを押す



DVD/CD ドライブのカバーが開いてディスクトレイが出てくる

2 ディスクのラベル面 (文字などが印刷されている面) を上にしてディスクトレイに置く

3 ディスクトレイを軽く押す ディスクトレイが収納されてカバーも閉じる

●ディスクを取り出す方法

1 ディスクトレイジェクトボタンを押す

2 ディスクトレイからディスクを取り出す

3 ディスクトレイを軽く押す ディスクトレイが収納されてカバーも閉じる

✓チェック!!

- ・ ディスクトレイの出し入れは、本体の電源が入っているときのみおこなえます。
- ・ DVD/CD ドライブのカバーは、ディスクトレイジェクトボタンを押すと、自動的に開くようになっています。カバーを無理に開こうとすると、カバーが壊れることがあります。

✓チェック!!

ディスクトレイジェクトボタンを押して収納することもできます。

✓チェック!!

ディスクトレイから取り出すときに、ディスクを落としたり、傷を付けたりしないように注意してください。

Sleep ボタンについて

このパソコンに添付されているキーボードの【Sleep】ボタンを押すことで、パソコンを省電力状態にすることができます。

「電源オプションのプロパティ」について

【Sleep】ボタンを押したときの動作を「電源オプションのプロパティ」で変更することができます。

- 1 「スタート」-「コントロールパネル」-「パフォーマンスとメンテナンス」-「電源オプション」をクリック
「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。
- 2 「詳細設定」タブをクリック



- 3 「コンピュータのスリープボタンを押したとき」から項目を選択し、「OK」をクリック

参照

- ・キーボードについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「キーボード」
- ・省電力機能について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「省電力機能」

チェック!!

初回セットアップ、または再セットアップ直後は、「電源オプションのプロパティ」画面に「コンピュータのスリープボタンを押したとき」が表示されません。表示する場合は、一度【Sleep】ボタンを押してください。その後、省電力状態を解除し、再び「電源オプションのプロパティ」を表示すると項目が表示されます。

P A R T

2

再セットアップ

パソコンを起動できなくなったときなどの「最後の手段」が再セットアップです。再セットアップをおこなうと、パソコンに保存されている大切なデータや設定の内容などが失われてしまうことがあります。作業を始める前に、このPARTの説明をよくお読みください。

再セットアップを始める前に

再セットアップの意味を理解して、いくつかのトラブル解決手段を試してみましょう。

パソコンをご購入時の状態に戻す、再セットアップ

再セットアップとは、パソコンを買ってきた直後におこなうセットアップ（準備作業）をもう一度おこなって、パソコンの中をご購入時の状態に戻すことです。エラーメッセージが何度も表示されたり、フリーズ（画面の表示が動かなくなる）が多くなったりしたときは、意識しないうちにパソコンのシステムが壊れたり、設定が変更されてしまった可能性があります。再セットアップすると、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。しかし、再セットアップをおこなうと、自分で作って保存しておいた文書や電子メールの内容、アドレス帳などがすべて消えてしまいます。どうしてもトラブルを解決できないときの最後の手段として再セットアップをおこなってください。大切なデータは、再セットアップの前にデータのバックアップ（データの控えを残しておくこと）を取ってください。

再セットアップの前に試すこと

再セットアップを始める前に、次のことを試してみてください。問題が解決することがあります。

●ウイルスチェックをおこなう

ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムです。インターネットやメールを経由してパソコンに入り込んだり、ウイルスに感染したディスクからパソコンに感染してしまうこともあります。

知らないうちに保存したデータが消えていたり、意味不明な文字や絵が突然画面に表示されたりしたときは、次のようにしてウイルスをチェックしてください。

ウイルスが駆除されればパソコンが正常に使えるようになることがあります。

- 1 デスクトップ画面右下の通知領域にある  を右クリックし、「VirusScan」-「ウイルスのスキャン」をクリック
アイコンが表示されていないときは、「スタート」-「すべてのプログラム」-「McAfee」-「McAfee VirusScan」-「ウイルスのスキャン」をクリックしてください。

✓チェック!!

ウイルスチェックは、常に最新のウイルス情報をもとにおこなう必要があります。「マカフィー・ウイルススキャン」は、はじめてアップデート機能を利用した日から90日間、無料で最新のウイルススキャンやウイルス定義ファイルのアップデートをおこなうことができます。詳しくは、②「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「マカフィー・ウイルススキャン」をご覧ください。

2 表示された画面で、「スキャン」をクリック

ウイルスのチェックが完了するまでにしばらく時間がかかります。
ウイルスが見つかったときは、画面に表示される指示にしたがって操作してください。

●セーフモードでパソコンを起動してみる

電源を入れてもパソコンが正常に起動しないときなどは、次のようにしてパソコンをセーフモードで起動してください。

- 1 パソコン本体の電源を切る
通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。
- 2 パソコン本体の電源を入れる
- 3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F8】を何度か押す
「Windows 拡張オプションメニュー」が表示されます。
- 4 【↑】、【↓】を使って「セーフモード」を選択し、【Enter】を押す
- 5 「オペレーティングシステムの選択」が表示されたときは、
「Microsoft Windows XP Home Edition」または「Microsoft Windows XP Professional」を選択し、【Enter】を押す
- 6 ユーザー選択の画面が表示されたときは、自分のユーザー名をクリック
「Windowsはセーフモードで実行されています。」と表示されます。
- 7 「はい」をクリック
これで、パソコンはセーフモードで起動しました。

この方法でトラブルが解決しなかった場合は、次の「データのバックアップを取る」(p.28) で大切なデータをバックアップした後で、「システムを修復してみる」(p.28) へ進んでください。

セーフモードは、Windowsの機能を限定して、必要最小限のシステム環境でパソコンを起動する、Windowsの起動モードのひとつです。通常の操作ではパソコンが起動しない場合でも、セーフモードならば起動できることがあります。

セーフモードについて、詳しくは「スタート」-「ヘルプとサポート」-「問題を解決する」-「問題のトラブルシューティング」-「Windowsをセーフモードで起動する」をご覧ください。

✓チェック!

- ・セーフモードでは、Windowsの最小限の機能しか使えません。
- ・手順3で「NEC」のロゴが表示されず【F8】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、キーボードのNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F8】を何度か押してください。
- ・手順3で「Windows 拡張オプションメニュー」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。
- ・セーフモードで起動した後、「スタート」-「終了オプション」-「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、正常な状態に戻ります。

●データのバックアップを取る

パソコンでトラブルが起きたとき、Windowsそのものやこのパソコンに添付のソフトは、システムの修復や再セットアップで復元する（正常な状態に戻す）ことができますが、自分で作成した文書や、住所録、電子メール、インターネットの設定などはもとには戻せません。大切なデータを失わないためには、これらの方法をおこなう前にDドライブ、DVD-RAM、DVD-R/RW、およびCD-R/RW ディスクなどに、必ずデータのバックアップを取ってください。

●システムを修復してみる

システムの修復によって、トラブルが発生する前の「復元ポイント」を指定して、Windowsを構成する基本的なファイルや設定だけをもとに戻すことができます。この方法を使うと、「マイドキュメント」などに保存しておいたデータの多くをそのまま残しておくことができます。

- 1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システムの復元」の順にクリック
「システムの復元」の画面が表示されます。
- 2 「コンピュータを以前の状態に復元する」がになっていることを確認して、「次へ」をクリック
- 3 カレンダーから復元したい日付をクリック
太字で表示された日付から、トラブルが起きるようになる前の日付を選んでください。
- 4 選択した日付の「復元ポイント」が複数表示されているときは、どれかをクリックして選択し、「次へ」をクリック
「復元ポイントの選択の確認」が表示されます。
- 5 内容を確認して「次へ」をクリック
選択した「復元ポイント」の時点にさかのぼって、パソコンのシステムが復元されます。しばらくすると、自動的にパソコンが再起動します。
- 6 「復元は完了しました」と表示されたら、「OK」をクリック
これで、システムの修復は完了です。

メモ

Dドライブは、ハードディスクの中にあります。システムの修復やCドライブのみ再セットアップをおこなうときには影響を受けないので、一時的なバックアップ先には適しています。

✓チェック!!

Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップする場合は、再セットアップ後にDドライブのデータも消えてしまいます。別途CD-R/RWディスクなどへデータのバックアップを取っておいてください。

✓チェック!!

- ・システムの修復をおこなう前にデータのバックアップを取ってください。システムを修復することで大切なデータが失われることがあります。
- ・システムの修復をおこなうときは、前もって起動中のソフトを終了させてください。
- ・Windowsが正常に起動しない場合は、「セーフモードでパソコンを起動してみる」(p.27)でセーフモードで起動した後、システムの修復をおこなってみてください。

参照

システムの復元→「スタート」-「ヘルプとサポート」-「問題を解決する」-「システムの復元を使って変更を元に戻す」

✓チェック!!

セーフモードで起動したときは、復元ポイントの作成はできません。

- ・「前回正常起動時の構成」でシステムを修復する
セーフモードでもパソコンを起動できず、「システムの復元」も実行できないときでも、次の操作で起動できることがあります。

- 1 パソコン本体の電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F8】を何度か押す
「Windows拡張オプションメニュー」が表示されます。
- 3 【↑】、【↓】を使って「前回正常起動時の構成」を選択し、【Enter】を押す
「オペレーティングシステムの選択」が表示されたときは、
「Microsoft Windows XP Home Edition」または「Microsoft Windows XP Professional」を選択し、【Enter】を押してください。
これで、前回正常起動時の構成を使用してパソコンが起動します。

左の操作をおこなうと、最後に Windows が正常に動いていたときのシステム状態で Windows が起動されます。詳しくは「スタート」-「ヘルプとサポート」-「問題を解決する」-「問題のトラブルシューティング」-「前回正常起動時の構成を使ってコンピュータを起動する」をご覧ください。

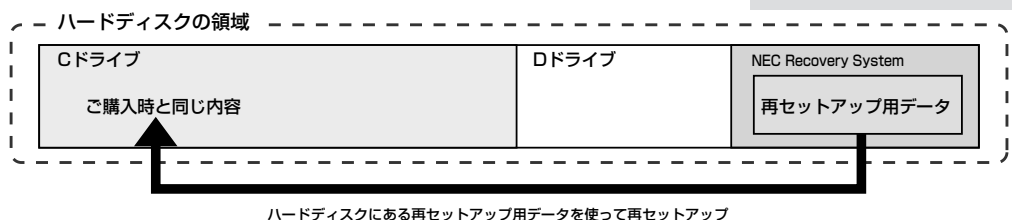
チェック!!

- ・手順2で「NEC」のロゴが表示されず【F8】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、キーボードの Num Lock ランプが点灯するタイミングで、【F8】を何度か押してください。
- ・手順2で「Windows拡張オプションメニュー」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

再セットアップする (Cドライブのみ)

このパソコンのハードディスクにあるCドライブの内容をご購入時の状態に戻します。

ハードディスクに格納されている再セットアップ領域のデータを、Cドライブに書き込んで再セットアップします。ハードディスクの領域の変更はしません。



●こんなことができます

- ・Cドライブのデータを手軽にご購入時の状態に戻せます
- ・Dドライブのデータは保護されます。

●こんなかたにおすすめ

- ・再セットアップしたいほとんどのかたにおすすめ
- ・まだパソコンに慣れていないかた、ハードディスクのフォーマットなどの経験がないかたは、必ずこの方法で再セットアップしてください

●再セットアップの流れ

再セットアップは次の13項目の作業を連続しておこないます。項目によっては()内におよその作業時間を示していますが、実際にかかる時間はモデルやパソコンの使用状況で異なります。

1. 必要なものを準備する
2. バックアップを取ったデータを確認する
3. インターネットやLANの設定を控える
4. ユーザー名を控える
5. BIOS(バイオス)の設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ
6. 別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り外す
7. システムを再セットアップする(約1時間)
8. Windowsの設定をする(約30分)

この方法で再セットアップをすると、Cドライブに保存されているデータはすべて削除されますので、必要なデータは再セットアップの前にバックアップを取っておく必要があります。RAIDの設定が初期化されたり、消失することはありません。

✓チェック!!

再セットアップは中断しないでください。

9. Office Personal 2003 または Office Professional 2003 を再セットアップする (約 10 分)
: Office 2003 モデルのみ
10. 別売の周辺機器 (メモリ、プリンタ、スキャナなど) を取り付けて設定
しなおす
11. インターネット接続の設定などをやりなおす
12. 別売のソフトをインストールしなおす
13. バックアップを取ったデータを復元する

再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップを取ってください。再セットアップすると、Cドライブに保存してあるデータはすべて失われます。

1. 必要なものを準備する

再セットアップの作業を始める前に、このパソコンに添付されている『ユーザズマニュアル』(このマニュアル) を準備してください。

また、このパソコンでご購入後にお客様ご自身でインストールしたソフトを使うときは、そのソフトのインストールが必要です。使用するソフトに添付のマニュアルをご覧になり、インストールに必要なものを準備してください。

2. バックアップを取ったデータを確認する

「データのバックアップを取る」(p.28) でバックアップを取ったデータの内容を、もう一度確認してください。万一、バックアップに失敗しているものがあったり、バックアップを取り忘れていたデータが見つかったときは、バックアップを取りなおしてください。

3. インターネットや LAN の設定を控える

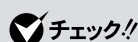
再セットアップをおこなっても、インターネット接続の設定は自動的に復元されません。インターネットを利用している場合、プロバイダの会員証を用意してください。会員証がない場合は、次の項目をメモしてください。

- | | |
|------------|----------------------------------|
| ・ユーザー ID | ・プライマリ DNS |
| ・パスワード | ・セカンダリ DNS |
| ・電子メールアドレス | ・メールサーバ |
| ・メールパスワード | ・ニュースサーバ |
| | ・アクセスポイントの電話番号
(ダイヤルアップ接続の場合) |



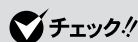
参照

バックアップについて→「データのバックアップを取る」(p.28)



チェック!!

再セットアップしても、サインアップで得たインターネットのIDなどは無効にはなりません。必ず書き留めて、後で設定しなおしてください。



チェック!!

受信したメールや「お気に入り」に登録した URL は、再セットアップをおこなうと消えてしまいます。必要な場合は、メールや URL ファイルのバックアップを取っておいてください。

4. ユーザー名を控える

このパソコンをご購入後、はじめて電源を入れておこなったセットアップ作業で設定したユーザー名を確認し、次の「ユーザー 1」の欄に控えておきます。「8.Windows の設定をする」(p.33) の作業をおこなうときに、このユーザー名が一致しないとデータは復元できません。

	ユーザー名
ユーザー 1 (1 人目)	
ユーザー 2 (2 人目)	
ユーザー 3 (3 人目)	
ユーザー 4 (4 人目)	

5. BIOSの設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ

BIOS の設定を変更している場合は、BIOS セットアップユーティリティを起動して、BIOS の設定を初期値 (デフォルト値) に戻してください。なお、初期値に戻す前に、現在の設定内容をメモに取るなどして控えておくことをおすすめします。

6. 別売の周辺機器 (メモリ、プリンタ、スキャナなど) を取り外す

別売の周辺機器は、すべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っているモジュラケーブルや LAN ケーブルも取り外してください。

7. システムを再セットアップする

1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押し続けたままにして電源を切ってください。

2 パソコン本体の電源を入れる

3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、[F11]を何度か押す

4 「再セットアップツール」の画面が表示されたら、「開始」をクリック

5 「再セットアップとは」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

6 「準備するもの」の画面が表示されたら、必要なものがそろっているかを確認し、「次へ」をクリック

7 「再セットアップを始める前に」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

✓チェック!!

家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合は、それらのユーザー名も一緒に控えておくことをおすすめします。

✓チェック!!

ユーザー名を控えるときには、次の点に注意してください。

- ・ 大文字と小文字の区別に注意
- ・ 全角と半角の区別に注意
- ・ 入力ミスに注意 (数字の「1」とアルファベットの「l」(エル) など)

✓チェック!!

BIOS の設定を初期値に戻すには、PART3 の「パソコンの使用環境を変更したら、Windows が起動しない」(p.58) をご覧になり、手順 2 からおこなってください。

✓チェック!!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

✓チェック!!

- ・ 手順3で「NEC」のロゴが表示されず [F11] を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、キーボードの Num Lock ランプが点灯するタイミングで、[F11] を何度か押してください。
- ・ 手順 4 で画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順 2 からやりなおしてください。

- 8 「再セットアップの種類を選択する」の画面が表示されたら、「Cドライブのみ再セットアップ」を選択し、「次へ」をクリック
- 9 「Cドライブのみ再セットアップ」の画面が表示されたら、「実行」をクリック
再セットアップが始まります。
- 10 「パソコンを再起動します」の画面が表示されたら、「再起動」をクリック
パソコンが再起動されたら、次の「8.Windowsの設定をする」に進んでください。

8. Windows の設定をする

- 1 「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されていることを確認する



- 2 「次へ」をクリック
「使用許諾契約」の画面が表示されます。
- 3 「同意します」をクリックして ☐ を ☒ にして、「次へ」をクリック
- 4 「コンピュータを保護してください」が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」をクリックして ☐ を ☒ にして、「次へ」をクリック
- 5 「コンピュータに名前を付けてください」が表示されたら、そのまま、「次へ」をクリック
「ValueOne」など好みの名前を入力してもかまいません。また、再セットアップする前に付けていた名前と異なるものを入力してもかまいません。
- 6 「管理者パスワードを設定してください」が表示された場合は、管理者パスワードを自由に入力する
「インターネットに接続する方法を指定してください」または「インターネット接続が選択されませんでした」と表示されたときは、手順6～8を省略して、手順9へ進んでください。
- 7 「パスワードの確認入力」の欄に、手順6で入力したパスワードと同じものを入力して、「次へ」をクリック

✓チェック!!

「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」の画面が表示されたときは「戻る」をクリックし、手順8からやりなおしてください。

✓チェック!!

手順10で「パソコンを再起動します」の画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常におこなわれていません。前ページの手順1からやりなおしてください。

メモ

パスワードは覚えやすく、忘れないようなものにしてください。

- 8** 「このコンピュータをドメインに参加させますか?」と表示された場合は、「いいえ」をクリックして  を  にして、「次へ」をクリック
「このコンピュータをドメインに参加させますか?」と表示されずに、「インターネットに接続する方法を指定してください」または「インターネット接続が選択されませんでした」と表示されたときは、この手順を省略して手順9へ進んでください。
- 9** 「インターネットに接続する方法を指定してください」または、「インターネット接続が選択されませんでした」と表示されたら、そのまま「省略」をクリック
- 10** 「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか?」と表示されたら、「いいえ」をクリックして  を  にして、「次へ」をクリック
- 11** 「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか?」と表示された場合は、「いいえ」をクリックして  を  にして、「次へ」をクリック
- 12** 「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」と表示されたら、あらかじめ控えておいたユーザー名を正確に入力して、「次へ」をクリック
- 13** 「設定が完了しました」と表示されたら、「完了」をクリック
しばらくすると、「パソコンの診断が終了しました。」と表示されます。
- 14**  をクリック
- 15** 「121 ポップリンクの設定」が表示されたら、「利用する」が  になっていることを確認し、 をクリック
- 16** 「設定が完了しました」と表示されたら、 をクリック
パソコンが再起動します。再起動後、「システムの復元ポイントの設定」の画面が表示されます。しばらくすると、もう一度再起動します。これでWindowsの設定は終了です。

Office 2003モデルの場合は、次の「9.Office Personal 2003またはOffice Professional 2003を再セットアップする(Office 2003モデルのみ)」に進んでください。

その他のモデルの場合は、「10.別売の周辺機器(メモリ、プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなす」(p.37)に進んでください。

チェック!!

コンピュータをドメインに参加させる場合は、セットアップ完了後に設定してください。設定方法については、Windowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

チェック!!

インターネット接続の設定は、セットアップ終了後におこなってください。

121 ポップリンクは、お使いの機種に適した最新情報を NEC からインターネット経由でお届けするサービスです。

9. Office Personal 2003 または Office Professional 2003 を再セットアップする (Office 2003 モデルのみ)

このパソコンに入っている「Office 2003」は、機能を厳選してインストールされています。ここでは、ご購入時と同じ状態でセットアップをおこなう手順を説明します。

必要のない機能を削除する方法や、後から機能を追加する方法については、添付の「Office 2003」のマニュアルをご覧ください。

- 1 「Microsoft® Office Personal Edition 2003」CD-ROMまたは「Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003」CD-ROMをセットする
- 2 「Microsoft Office 2003 セットアップ」の画面が表示されたら、プロダクトキーを入力して、「次へ」をクリック
「プロダクトキー」は、CD-ROMケースの裏面に貼ってあるシールに記載されています。
- 3 「ユーザー情報」が表示されたら、ユーザー名などを入力して「次へ」をクリック
ユーザー名などの欄には、何も入力しなくてもかまいません。
- 4 「インストールの種類」と表示されたら、「カスタムインストール」をクリックして○を◎にして、「次へ」をクリック
- 5 「カスタムセットアップ」と表示されたら、「アプリケーションごとにオプションを指定してインストール」をクリックして□を☑にして、「次へ」をクリック
- 6 「詳細なカスタマイズ」と表示されたら、「Microsoft Office」の左側にあるをクリックして、「マイコンピュータからすべて実行」をクリック
- 7 「Microsoft Office Excel」の左側にあるをクリックし、「読み上げ」の左側にあるをクリックして、「インストールしない」をクリック
「読み上げ」の左にあるアイコンがに変わります。
- 8 同じようにして「Office 共有機能」の-「入力システムの拡張」のをクリックし、「音声」の左側にあるをクリックして、「インストールしない」をクリック
- 9 「Microsoft Office Excel」の「読み上げ」、「Office 共有機能」の「音声」、どちらもに変わったことを確認し、「次へ」をクリック
- 10 「ファイルの概要」と表示されたら、「完了」をクリック
インストールが始まります。

✓ チェック!!

このとき表示される一覧の中に、灰色で表示されているフォルダがないことを確認してください。あったときは、もう一度この手順をやりなおしてください。

- 11** 再起動するようにメッセージが表示されたら、「はい」をクリック
- 12** 「Microsoft® Office Personal Edition 2003」CD-ROMまたは「Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003」CD-ROMを取り出す
Office Personal 2003モデルの場合は、続けて「Home Style+」をインストールします。Office Professional 2003モデルの場合は、手順21に進んでください。
- 13** 「Microsoft® Office Home Style+」CD-ROMをセットする
- 14** 「Microsoft Office Home Style+セットアップへようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック
- 15** 「使用許諾契約書」が表示されたら、内容を確認し、「同意します」をクリックして○を◎にして、「次へ」をクリック
- 16** 「セットアップ先のフォルダ」と表示されたら、「次へ」をクリック
- 17** 「インストールタイプの選択」と表示されたら、「標準」が◎になっていることを確認し、「次へ」をクリック
- 18** 「インストールの開始」と表示されたら、「次へ」をクリック
インストールが始まります。
- 19** 「セットアップは正常に終了しました。」と表示されたら、「OK」をクリック
- 20** 「Microsoft® Office Home Style+」CD-ROMを取り出す
続けて「Office 2003 SP2」をインストールします。
- 21** 「スタート」-「マイコンピュータ」をクリックして、「Windows XP (C:)」をダブルクリック
「ファイルは表示されていません。」と表示された場合は、「このフォルダの内容を表示する」をクリックしてください。
- 22** 「APSETUP」フォルダをダブルクリック
- 23** 「O11SP2」フォルダ(Office Personal 2003モデル)、「O11ProSP2」フォルダ(Office Professional 2003モデル)をダブルクリック
- 24** 「O11Sp2PI」(Office Personal 2003モデル)、「Office2003SP2-KB887616-Client-JPN」(Office Professional 2003モデル)をダブルクリック
- 25** 「Office 2003 Service Pack 2(ブレインストール用)」(Office Personal 2003モデル)、「Office 2003 Service Pack2(SP2)」(Office Professional 2003モデル)の画面が表示されたら、「はい」をクリック

 チェック!!

- ・「Microsoft Office 2003のセットアップが正常に完了しました。」と表示されることもあります。その場合、「完了」をクリックしてください。
- ・「Web サイトで更新および追加ダウンロードをチェックする」の□を☑にしないでください。

 チェック!!

「Microsoft .NET Framework 1.1 パッケージをインストールしますか?」と表示された場合は、「いいえ」をクリックしてください。

26 使用許諾契約の画面が表示されたら、内容に同意して、「はい」をクリック

インストールが始まります。「インストールを継続するには、次のアプリケーションを閉じる必要があります」と表示された場合は、「無視」をクリックしてください。

27 再起動するようにメッセージが表示されたら、「はい」をクリック

これでOffice 2003を使う準備ができました。

●再セットアップ後、Office Personal 2003を最初に使用するとき

Outlook 2003やWord 2003、Excel 2003など、Office 2003のソフトを最初に使用するときは、「Microsoft Office 2003 ライセンス認証ウィザード」が表示されます。添付の『Microsoft® Office Personal Edition 2003 スタートガイド』または『Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003 スタートガイド』をご覧ください。ライセンス認証をおこなってください。このライセンス認証手続きは、必ず、再セットアップの作業がすべて完了してからおこなってください。

10. 別売の周辺機器（メモリ、プリンタ、スキャナなど）を取り付けて設定しなす

- 1 パソコンの電源を切る
- 2 取り外した周辺機器を取り付け、それぞれのセットアップや設定をおこなう

11. インターネット接続の設定などをやりなす

再セットアップをおこなうと、インターネット接続の設定もやりなす必要があります。プロバイダに接続するためのユーザー名やパスワードなどは、入会時に決まったものがそのまま使用できます。サインアップ（入会申し込み）をやりなす必要はありません。

12. 別売のソフトをインストールしなす

パソコンに別売のソフトをインストールしていた場合は、それぞれのソフトに添付のマニュアルにしたがってインストールをおこなってください。

13. バックアップを取ったデータを復元する

「データのバックアップを取る」(p.28)でバックアップしたデータを復元してください。

これで再セットアップの作業は完了です。

✓チェック!!

セットアップや設定の手順、パソコンの電源を入れるタイミングなどについては、ご利用の周辺機器に添付のマニュアルにしたがってください。

Cドライブの領域を変更して再セットアップする

このパソコンのハードディスクにあるCドライブとDドライブの領域を変更してから、Cドライブをご購入時の状態に戻します。

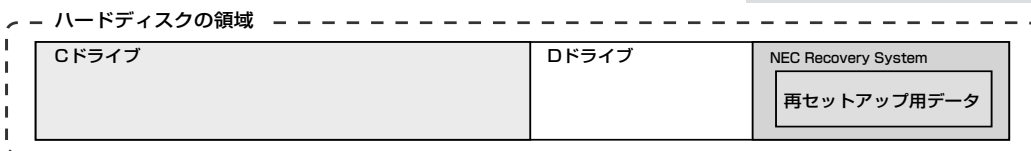
初心者のかたや、ハードディスクの知識があまりないかたは、「再セットアップする (Cドライブのみ)」(p.30) をご覧になり再セットアップをおこなうことを強くおすすめします。

Cドライブの領域サイズを20Gバイトから1Gバイト単位で変更できます。Cドライブの領域サイズは、最大でもハードディスク全体のサイズから再セットアップ用データを除いたサイズとなります。

Dドライブなどを含め、ハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

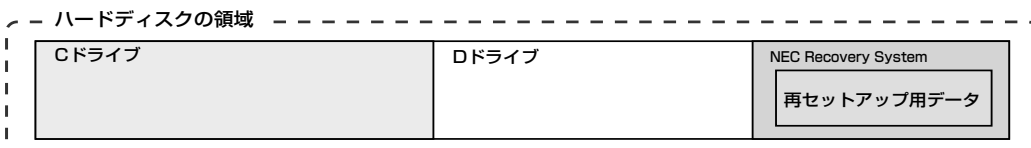
Cドライブのサイズを変更できます。

<ご購入時の状態>



Cドライブのサイズを変更できる

<再セットアップ後の状態>



●こんなことができます

- ・Cドライブのサイズを変更する

●こんなかたにおすすめ

- ・パソコンやハードディスクの知識を十分にお持ちのかた
- ・ハードディスクの領域を変更したいかた

✓チェック!!

この方法で再セットアップをおこなうと、Cドライブだけでなく、Dドライブにあるデータも失われます。操作を始める前に、CD-R/RW ディスクなどに大切なデータのバックアップを取ってください。

✓チェック!!

Cドライブの領域を最大に設定して再セットアップをおこなうと、Dドライブのない構成になります。

再セットアップ手順

- 1 このPARTの「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.30)をご覧ください、「1.必要なものを準備する」～「7.システムを再セットアップする」の手順1～7までの作業をおこなう
- 2 「再セットアップの種類を選択する」の画面が表示されたら、「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」を選択し、「次へ」をクリック
- 3 「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック
- 4 「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたら、Cドライブの領域の大きさを指定して「実行」をクリック
以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。
再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネットの再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」(p.33)以降の説明を参考にしてください。

✓チェック!!

- ・再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。
- ・再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後までおこなってください。

再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成する

このパソコンには「再セットアップ用DVD/CD-ROM」は添付されていません。次ページの「再セットアップ用DVD/CD-ROMの作成」をご覧ください、ご自分で作成していただく必要があります。

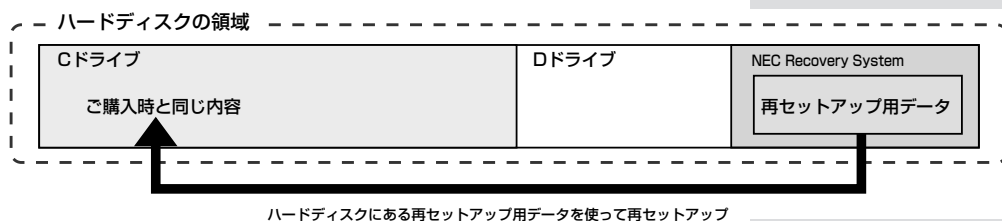
ここでは、このパソコンで作成することができる「再セットアップ用DVD/CD-ROM」の概要とその作り方について説明しています。

✓チェック!!

CD-ROMモデルで、5型ベイにほかにドライブが搭載されていないモデルでは再セットアップ用ディスクは作成できません。再セットアップが必要なときは、この次の「再セットアップ用DVD/CD-ROMの作成」の「準備」をご覧ください、作成済みの再セットアップ用CD-ROMをお求めください。

再セットアップ用DVD/CD-ROMとは

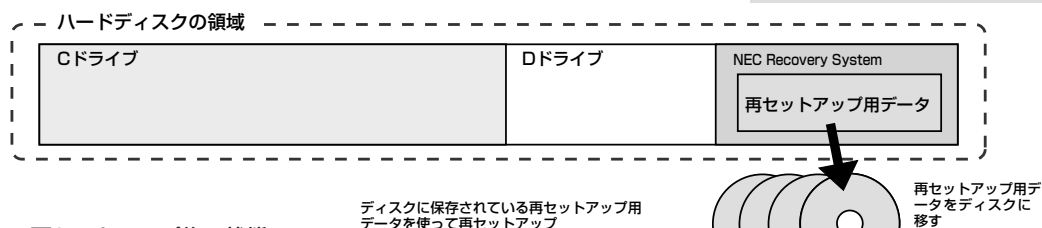
このパソコンは、次のように、ハードディスク内の「再セットアップ領域」(NEC Recovery System)に保存されている再セットアップ用データを使って、再セットアップをおこなうしくみになっています。



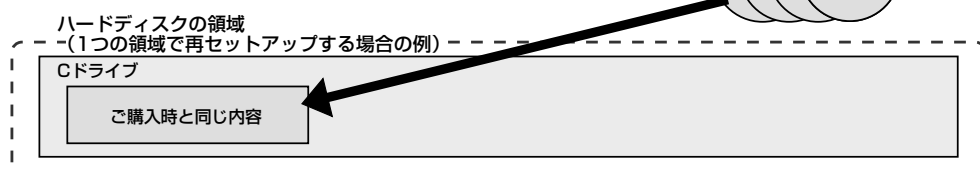
通常は、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.30)をご覧ください、上記の方法で再セットアップしてください。

そのほかに、ここで作成する「再セットアップ用DVD/CD-ROM」を使った再セットアップ方法が利用できます。

<ご購入時の状態>



<再セットアップ後の状態>



再セットアップ用 DVD/CD-ROM の作成

このパソコンに入っている「再セットアップディスク作成ツール」を使って再セットアップ用 DVD/CD-ROM を作成します。

準備

DVD-R/+R ディスクまたは CD-R ディスクへのデータ書き込みには「DigitalMedia」というソフトが必要です。このパソコンにあらかじめインストールされていますが、削除してしまっているときは、追加しておいてください。

再セットアップ用 DVD/CD-ROM は、DVD-R/+R ディスクまたは CD-R ディスクのどちらでも作成できます。

再セットアップ用 DVD/CD-ROM を作成するために必要なディスクの枚数は、お使いのモデルによって異なります。「再セットアップ用 DVD/CD-ROM の作成手順」の手順 2 (p.42) の画面に表示される枚数をご確認になり、必要な枚数の未使用の DVD-R/+R ディスクまたは CD-R ディスクを用意してください。

- ・必ず次の容量のディスクを用意してください。
 - CD-R ディスクの場合：700M バイトまたは 650M バイトのもの
 - DVD-R/+R ディスクの場合：4.7G バイトのもの
 - DVD-R/+R (2 層) ディスクの場合：8.5G バイトのもの
- ・DVD-R/+R ディスク、または DVD-R/+R (2 層) ディスクを使用する場合、1 枚目以外は同じ種類のディスクを用意してください。
- ・次のディスクは使用できません。
 - CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM
- ・作成済みの再セットアップ用 DVD/CD-ROM の販売もしています。お買い求めの際は、PC98-NX シリーズメディアオーダーセンターのホームページをご覧ください。

URL : <http://nx-media.ssnet.co.jp/>

また、作成には CD 1 枚につき最大約 30 分、DVD 1 枚につき最大約 100 分かかります。

作成時の注意

再セットアップ用 DVD/CD-ROM の作成中にほかのソフトが起動していると、ディスクへの書き込み中にエラーが発生することがあります。作成を開始する前に、次の操作をおこなってください。

- ・スクリーンセーバーが起動しないようにする
- ・自動的にスタンバイ状態／休止状態にならないように設定する
- ・起動中のソフトをすべて終了する
- ・常駐プログラム（ウイルス対策ソフトなど）をすべて終了する

✓チェック!!

CD-ROM モデルで、5 型ベイにほかにドライブが搭載されていないモデルの場合、パソコンに「再セットアップディスク作成ツール」は入っていません。

📖参照

「DigitalMedia」を追加する→ ②「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフトの追加と削除」

✓チェック!!

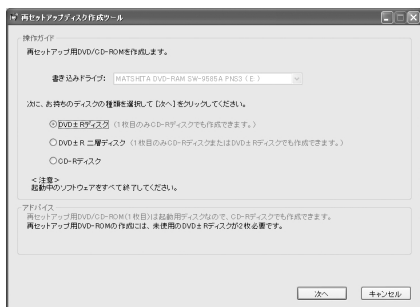
- ・再セットアップ用 DVD/CD-ROM は、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。
 - ・「再セットアップ領域」(NEC Recovery System) に保存されている再セットアップ用データが削除されている場合は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「アプリケーション」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリックすると、次のいずれかのメッセージが表示され、再セットアップ用 DVD/CD-ROM を作成できません。
 - ー「必要なファイルが見つからないため、ソフトウェアを実行できません。」
 - ー「再セットアップ用 DVD/CD-ROM の作成に必要なファイルが見つからないため、ソフトウェアを実行できません。」
- 再セットアップ用データは次のような場合に削除されます。
- ー再セットアップ用 DVD/CD-ROM を使用して「C ドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」をおこなった場合
 - ー手動で再セットアップ領域を削除、または再セットアップ用データを削除した場合

再セットアップ用DVD/CD-ROMの作成手順

- 1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アプリケーション」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリック
次の画面が表示されます。



- 2 「再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成する」がになっていることを確認して、「次へ」をクリック
次の画面が表示されます。



- 3 用意したディスクをセットする
- 4 セットしたディスクの種類を選択し、必要なディスクの枚数を確認して、「次へ」をクリック
- 5 「作成開始ディスク」と「書き込み速度」をプルダウンメニューからそれぞれ選択し、「次へ」をクリック
- 6 「作成開始」をクリック
1枚目のディスクへの書き込みが始まります。書き込みにはしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。
書き込みが完了すると、自動的にディスクが排出され、1枚目のディスクが作成されたことを知らせるメッセージが表示されます。
- 7 「OK」をクリック
- 8 ディスクを取り出し、ディスクの種類と何枚目のディスクかわかるようにラベル面に記入する
続けて、次のディスクをセットしてください。最後のディスクへの書き込みが終わるまで、同じ操作を繰り返します。

✓チェック!!

書き込み可能なDVD/CDドライブを2台搭載しているモデルでは、書き込むドライブを選択できます。ドライブ名の▼でドライブを選択し「確認」ボタンをクリックすると選択したドライブのトレーが出ます。

✓チェック!!

- ・DVD-R/+R ディスク、DVD-R/+R (2層) ディスクは、CD-R/RW with DVD-ROM モデルの場合は選択できません。
- ・DVD-R/+R ディスクを選んだ場合でも、1枚目はCD-Rディスクで作成できます。
- ・DVD-R/+R (2層) ディスクを選んだ場合でも、1枚目はCD-RディスクまたはDVD-R/+R ディスクで作成できます。

✓チェック!!

- ・書き込み速度は「最速」を選んでください。
- ・書き込みに失敗した場合は、「書き込み速度」を「中速」または「低速」にして、再度作成してください。このとき、2枚目以降の書き込みに失敗したときなど、途中から作成する場合は、「作成開始ディスク」から作成を開始するディスクを選んでください。

✓チェック!!

作成した再セットアップ用DVD/CD-ROMは、紛失・破損しないように大切に保管してください。

再セットアップ用DVD/CD-ROM を使って再セットアップする

再セットアップ用DVD/CD-ROMを使ってできることを説明します。

再セットアップ用DVD/CD-ROMで可能なこと

「再セットアップ用DVD/CD-ROM」を使った再セットアップでは、目的に応じて、次の再セットアップなどをおこなうことができます。

◆ Cドライブのみ再セットアップ

ハードディスクのCドライブの領域のみを再セットアップします。Dドライブなど、Cドライブ以外の領域に保存されていたデータは、再セットアップ前の状態のまま残すことができます。

◆ Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ

Cドライブの領域サイズを20Gバイトから1Gバイト単位で設定できます。Dドライブなどを含め、ハードディスクに保存されていたデータはすべて失われます。

この方法で再セットアップすると、ご購入時に NEC Recovery System に入っていた再セットアップ用データが失われます。

作成した再セットアップ用DVD/CD-ROMを紛失・破損しないように、大切に保管してください。

◆ ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップ

Cドライブをご購入時の状態に復元して再セットアップをおこないます。再セットアップ用DVD/CD-ROMの内容をハードディスクにコピーして、ハードディスクから再セットアップできるようにします。そのため、この方法での再セットアップには約2時間かかります。Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップした後で、ハードディスクの領域をご購入時の状態に戻したいときに利用します。

この方法で再セットアップすると、それまでのハードディスクの内容はCドライブ、Dドライブともにすべて失われます。

✓ チェック!!

- ・ ハードディスクの状態をご購入時から変更(ダイナミックディスクなど)した場合、「再セットアップ用DVD/CD-ROM」を使って、Cドライブのみ再セットアップすることはできません。
- ・ 再セットアップすると、大切なデータや設定内容の多くが失われてしまいます。再セットアップを始める前に、大切なデータはバックアップを取っておいてください。
- ・ 読み込み可能なDVD/CDドライブを2台搭載しているモデルの場合、どちらか一方のみを使用してください。2台のドライブでの同時読み込みはできません。また、ディスクを次の順番のものに取り替えるときに別のドライブにセットすることはできません。
- ・ 再セットアップ用DVD/CDディスクがDVD±R、またはDVD±R(2層)の場合は、そのディスクを読み込み可能なドライブにセットしてください。

◆ ハードディスクのデータ消去

このパソコンのハードディスクのデータ消去をおこないます。ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、Windows XP 標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。このパソコンを譲渡や廃棄するときにご利用ください。

消去にかかる時間は、ご利用のモデルによって異なります。

この方法でのハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。データの復元が完全にできないことの証明が必要な場合は、NEC フィールディング株式会社に有償のデータ消去を依頼してください。

NEC フィールディングホームページ
URL: <http://www.fielding.co.jp/>

◆ RAID 構成を変更する (RAID モデルのみ)

このパソコンの RAID 構成を変更します。RAID 構成を変更するとハードディスクに保存されていたデータはすべて消去されてしまいます。必要なデータは事前に DVD/CD-ROM にバックアップを作成しておいてください。

再セットアップ用 DVD/CD-ROM を使った再セットアップ手順

再セットアップ用 DVD/CD-ROM から再セットアップをおこなうときは、次の手順で操作してください。

- 1 作成した再セットアップ用 DVD/CD-ROM を用意する
- 2 「再セットアップする (C ドライブのみ)」(p.30) をご覧になり、「1. 必要なものを準備する」～「6. 別売の周辺機器 (メモリ、プリンタ、スキャナなど) を取り外す」の作業をおこなう
- 3 パソコン本体の電源スイッチを押して電源を入れる
- 4 電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップ用 DVD/CD-ROM (1 枚目) をセットする (DVD/CD ドライブが 2 台搭載されているモデルをお使いの場合は、作成したディスクを読み込み可能な、どちらか一方の DVD/CD ドライブを使用してください。) しばらくすると、「再セットアップツール」の画面が表示されます。
- 5 「開始」をクリック
ディスクを交換するように指示が表示されたら、指示にしたがって再セットアップ用 DVD/CD-ROM を順番にセットしてください。
- 6 「再セットアップとは」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック
- 7 「準備するもの」の画面が表示されたら、必要なものがそろっているか確認し、「次へ」をクリック

✓ チェック!!

RAID 構成を変更する場合、レベルによって必要なハードディスクの数が異なります。詳しくは、付録の「RAID 機能について (RAID モデルのみ)」をご覧ください。

✓ チェック!!

再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後まで操作してください。やむをえず中断したときは、最初から操作をやりなおしてください。

✓ チェック!!

手順 4 で「再セットアップツール」の画面が表示されずに、通常の Windows デスクトップが表示されたときは、再セットアップ用 DVD/CD-ROM をセットしたまま、パソコンを再起動 (「スタート」-「終了オプション」-「再起動」の順にクリック) してください。

✓ チェック!!

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。

- 8 「再セットアップを始める前に」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック
- 9 「再セットアップの種類を選択する」の画面が表示されたら、再セットアップの種類を選択し、「次へ」をクリック
- 10 以降は、画面の指示にしたがって操作する
ディスクを交換するように指示が表示されたら、指示にしたがって再セットアップ用DVD/CD-ROMを順番にセットしてください。
- 11 再セットアップが終了したら、再セットアップ用DVD/CD-ROMを取り出して、「再起動」をクリック
パソコンが再起動します。
- 12 パソコンが再起動して「Windowsへようこそ」の画面が表示されたら、「8. Windowsの設定をする」(p.33)以降の操作をおこなってください
「13. バックアップを取ったデータを復元する」(p.37)の操作まで終われば、再セットアップの作業は完了です。

「RAID 構成を変更する」を選んで RAID 構成を変更する場合
手順 11 では、画面の指示にしたがって再セットアップ用 DVD/CD-ROM の一枚目を DVD/CD ドライブにセットしてから「再起動」をクリックしてください。その後は、再び手順 4 から操作してください。
手順 9 で「再セットアップの種類を選択する」の画面が表示されたら、「C ドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」または「ハードディスクの領域をご購入時の状態に戻して再セットアップ」を選択してください。

「ハードディスクをご購入時の状態に戻して再セットアップ」をする場合
手順 11 で「再起動」をクリックすると、再起動後に再び「再セットアップツール」の画面が表示されます。「開始」をクリックし、後は画面にしたがって作業を進めてください。再び、「パソコンを再起動します」の画面が表示されたら、DVD/CD-ROM を取り出し、「再起動」をクリックしてください。パソコンが再起動し、「Windows へようこそ」の画面が表示されますので、手順 12 へ進んでください。

✓チェック!!

- ・ ハードディスクのフォーマットまたは再セットアップがおこなわれている間は、画面に指示が表示されないかぎり、ディスクを取り出したり、電源スイッチに触れたりしないでください。
- ・ 再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードやパソコン本体の電源スイッチに触れないでください。再セットアップの進行中に数回「ピー」と音がすることがありますが、これは再セットアップ処理が正しく進んでいることを示すもので、故障ではありません。

✓チェック!!

- ・ 処理が終了したことを示す画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常におこなわれていません。手順 3 から操作をやりなおしてください。

P A R T

3

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていてトラブルが起きたときは、このPARTで説明しているQ&A事例の中からあてはまる項目を探してみてください。

パソコンが使える場合は、電子マニュアル「サポートナビゲーター」の「解決する」もあわせてご覧ください。

トラブル解決への道

トラブル解決の秘訣は、冷静になることです。何が起こったのか、原因は何か、落ち着いて考えてみましょう。

パソコンから煙が出たり、異臭や異常な音がしたり、手で触れないほど熱かったり、その他パソコンやディスプレイ、ケーブル類に目に見える異常が生じた場合は、すぐに電源を切り、電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜いて、NECにご相談ください。

1 まずは、状況を把握する

◇しばらく様子を見る

あわてて電源を切ろうとしたり、マウスを動かしたり、キーボードのキーを押したりせず、しばらくそのまま待ってみましょう。パソコンの処理に時間がかかっているだけかもしれないからです。

パソコンのディスプレイに何かメッセージが表示されているときは、そのメッセージを紙に書き留めておきましょう。原因を調べるときや、ほかの人やサポート窓口などへの質問の際に役立つ場合があります。

◇原因を考えてみる

トラブルが発生する直前にどのような操作をしたか、操作を間違えたりしなかったか、考えてみましょう。電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定をし忘れていたなど、意外に単純な原因である場合も多いのです。

◇操作をキャンセルしてみる

たとえばソフトを使っていて障害が起きたとき、「元に戻す」「取り消し」「キャンセル」などの機能があったら、それを使ってみてください。

◇Windowsをいったん終了してみる

いったんWindowsを終了して、もう一度電源を入れなおしただけで問題が解決する場合があります。

2 当てはまるトラブル事例がないか、マニュアルで探してみる

◇このパソコンに入っている電子マニュアル「サポートナビゲーター」の「解決する」

◇このPART「トラブル解決 Q&A」

◇使用中のソフトや周辺機器のマニュアル

◇Windowsの「ヘルプとサポート」

3 インターネットでトラブル事例を探してみる

◇NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」

<http://121ware.com/support/>をご覧ください。

◇マイクロソフトサポート技術情報

Windowsに関するトラブル情報が検索できます。

<http://support.microsoft.com/default.aspx?LN=JA>をご覧ください。

◇ソフトや周辺機器の開発元のホームページ

お使いのソフトや周辺機器のメーカーのホームページでも、Q&A情報が提供されている場合があります。



それでも駄目なら、サポート窓口へ電話する

どうしても解決できないときは、サポート窓口にお問い合わせしてみましょう。トラブルの原因がソフトや周辺機器にあるようならば、それぞれの開発元にお問い合わせます。NECのサポート窓口「121コンタクトセンター」については、添付の『121wareガイドブック』をご覧ください。

「サポートナビゲーター」でトラブル解決

パソコンのトラブルを解決するのに役立つのは、このマニュアルだけではありません。このパソコンに入っている電子マニュアル「サポートナビゲーター」を活用してください。

「サポートナビゲーター」の使い方

●起動方法



画面左にある「困ったときのサポートナビゲーター」アイコンをダブルクリック

次に「サポートナビゲーター」の「解決する」をクリック

●使い方



画面左の「困ったときには」を選択し、起きているトラブルをクリック。画面を見ながら解決方法を確認していきます。

このパソコンの機能や機器の増設情報も

「サポートナビゲーター」は、トラブル解決だけでなく、このパソコンのソフトや機能についての情報も数多く掲載しています。

特に「使いこなす」-「パソコン各部の説明」では、省電力機能/表示機能/サウンド機能などの機能や、本体カバーの開け方/メモリの増設/各種コネクタ類の説明など機器増設の際に必要な情報を紹介しています。

パソコンの様子がおかしい

パソコンが異常に熱を持ったとき、変なおいがしたときなど、様子がおかしいと思ったらここをご覧ください。いきなり電源ケーブルを抜いたりせず、落ち着いて対処しましょう。

パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手で触れないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた

すぐに電源を切って、電源ケーブルをコンセントから抜き、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。電源が切れないときは、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態でなにも作業をしていないときに、ハードディスクが勝手に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためであり、問題はありません。

ただし、ハードディスクの空き容量が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、ハードディスクのアクセス音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを実行してください。

それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。



参照

NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』



データの断片化とは、データがハードディスクの空いているところに、バラバラに保存される状態をいいます。



参照

- ・ ディスクデフラグ、ディスククリーンアップについて→②「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」
- ・ NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

急に動かなくなった、フリーズした

ソフトや周辺機器に異常が発生すると、どんな操作をしてもパソコンやソフトが反応しなくなることがあります(この状態をフリーズ、またはストール、ハングアップといいます)。このような場合は、次の操作をおこなってください。

異常が起きているソフトを終了させる

- 1 [Ctrl]と[Alt]を押しながら[Delete]を1回押す
「Windows タスクマネージャ」の画面が表示されます。



- 2 「アプリケーション」タブをクリックし、右側に「応答なし」と表示されているプログラム(ソフト)をクリックして、「タスクの終了」をクリック

この方法でソフトが終了できなかつたり、終了できても、正しい電源の切り方で電源が切れないときは、次の操作をおこなってください。

強制的に電源を切る

- 1 パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れて電源ランプが消えるまで押し続ける
通常、4秒以上押し続けるとパソコンの電源が切れます。
- 2 5秒以上待ってから、電源スイッチを押す
パソコンの電源が入り、場合によっては、「ディスクのチェック」が自動的に始まり、ハードディスクがチェックされます。「ディスクのチェック」で異常が発見されなかったときや、「ディスクのチェック」が実行されなかったときは、そのままWindowsが起動します。

✓チェック!!

動作が止まっているように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。あわてる前に、画面の表示状態やCD/ハードディスクアクセスランプが点灯していないかなどをよく確認しましょう。

✕モ

画面が突然真っ暗になったときには、パソコンが省電力状態になったことが考えられます。省電力状態から復帰するには、電源スイッチを押します。詳しくは「ディスプレイに何も表示されない」(p.55)をご覧ください。

✓チェック!!

- ・「Windows タスクマネージャ」の画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。表示されない場合は、しばらくお待ちください。
- ・ソフトで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

✓チェック!!

- ・頻繁に強制終了をおこなうとハードディスクが故障することがあります。
- ・強制終了をおこなうと直後の再起動時に「ディスクのチェック」が自動的に起動することがあります。

✓チェック!!

- ・「ディスクのチェック」の結果、何かメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。うまく起動できなかった場合は、「PART2 再セットアップ」(p.25)をご覧ください、システムの修復または再セットアップをおこなってください。

3 「スタート」をクリックして、「終了オプション」をクリック
「コンピュータの電源を切る」の画面が表示されます。

4 「電源を切る」をクリック
パソコンの電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、もう1度電源スイッチを押し続けてください。パソコンの電源ランプが点滅している場合は、いったんパソコンの電源コンセントを抜いてから、電源コンセントを入れなおしてみてください。

それでもトラブルが解決しないときは、「PART2 再セットアップ」(p.25)をご覧ください、システムの修復または再セットアップをおこなってください。

・ RAID5 を構成しているパソコンで強制的に電源を切ったとき、直後の起動時に RAID ボリュームのパリティ初期化がおこなわれる場合があります。

マウス、キーボード

マウスやキーボードが正しく動作しなかったり、反応しないときはここをご覧ください。

マウスを動かしても、キーボードのキーを押しても反応しない、反応が悪い

☹️➡️😊 マウスポインタが砂時計の形になっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、マウスやキーボードの操作が受け付けられない場合があります。処理が終わるまで待ってください。

☹️➡️😊 マウスは正しく取り付けられていますか？

マウスがパソコン本体背面のマウスコネクタにしっかり接続されていないと、マウスが正しく動作しません。
『セットアップシート』をご覧ください、正しく接続されているか、またプラグがきちんと差し込まれているかを確認してください。正しく接続されていない場合は、接続しなおしてください。

✓チェック!!

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示やCD/ハードディスクアクセスランプが点灯していないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

 ➡ キーボードは正しく取り付けられていますか？

キーボードとパソコン本体がしっかり接続されていないと、キーボードが正しく動作しません。

『セットアップシート』をご覧ください。正しく接続されているか、またプラグがきちんと差し込まれているかを確認してください。正しく接続されていない場合は、接続しなおしてください。

 ➡ しばらく待っても、マウスやキーボードの操作ができないとき
ソフトや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」(p.51)をご覧ください。異常が起きているソフトを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。

マウスが正しく動作しない

このパソコンのマウスの中にはボールが入っていて、ボールの動きに応じてマウスポインタが動きます。マウスの内部が汚れているとボールが正常に動きにくくなり、その結果マウスが正しく動作しなくなることがあります。

マウスの動きが引かかるような場合は、付録の「パソコンのお手入れ」(p.72)をご覧ください。マウスの掃除をしてください。

メモ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、マウス、キーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になります。

マウス、キーボードに飲み物をこぼしてしまった

やわらかい布などでふき取ってください。キーボードのキーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。乾いた後で、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

参照

- ・ マウス、キーボードのお手入れ → 付録の「パソコンのお手入れ」(p.72)
- ・ NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先 → 『121ware ガイドブック』

電源のトラブル

電源を入れたとき、電源を切ろうとしたときにトラブルが発生したときは、こちらをご覧ください。

電源スイッチを押しても電源が入らない

まれに、パソコン本体に電荷が帯電し、電源スイッチを押しても電源が入らない状態になることがあります。次の操作をおこない、放電してみてください。

1 電源ケーブルをコンセントから抜く

2 パソコン本体の電源スイッチを2、3回押す

電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で電源スイッチを2、3回押すことで、本体に帯電した電荷が放電されます。

3 そのまましばらく放置した後、電源ケーブルを正しく接続しなおす

4 パソコン本体の電源スイッチを押して、電源を入れる

この操作をおこなってもパソコンの電源が入らない場合は、パソコン本体の故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

✓チェック!!

放電を確実にこなうため、電源ケーブルはしばらくコンセントから抜いたままにしておいてください。

📖 参照

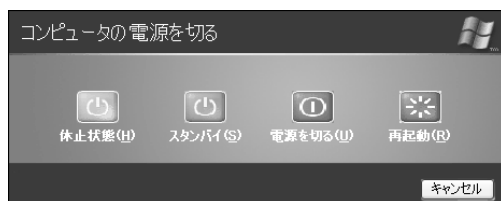
NEC 121コンタクトセンターの問い合わせ先→『121ware ガイドブック』

電源が切れない。強制的に電源を切りたい

DVD/CD-ROMやフロッピーディスクなどがDVD/CDドライブやフロッピーディスクドライブにセットされている場合は、すべて取り出してから電源を切ってください。

正しい電源の切り方

1 「スタート」をクリックし、「終了オプション」をクリック 「コンピュータの電源を切る」の画面が表示されます。



2 「電源を切る」をクリック

しばらくすると、自動的に電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、ソフトに異常が起きていると考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」(p.51)をご覧ください。異常が起きているソフトを終了してください。それでも電源が切れないときは、「強制的に電源を切る」(p.51)の操作をおこなってください。

✓チェック!!

電話回線を使うソフトを起動しているときは、ソフトを終了させてから電源を切ってください。

ディスプレイに何も表示されない

パソコンの電源を入れたときにディスプレイに何も表示されないときや、パソコンを使っていて画面が真っ暗になったときは、パソコン本体の電源ランプ、ディスプレイの電源ランプの状態を確認してください。

パソコン本体の電源ランプが消えている、または点滅しているとき

☹️➡️😊 パソコン本体の電源スイッチを押してください。画面が表示されますか？

画面が表示されるときは、電源が切れていたか、パソコン本体の省電力機能が働いて省電力状態になっていたものと考えられます。

このパソコンは、ご購入時には20分間何も操作しないと自動的に省電力状態になるように設定されています。

☹️➡️😊 パソコン本体の電源ケーブルなどは正しく接続されていますか？

一度、電源ケーブルをコンセントから抜き、『セットアップシート』をご覧ください、もう一度パソコンの各ケーブルを接続しなおしてください。

電源ケーブルなどすべてのケーブルを正しく接続しなおして、電源を入れても本体の電源ランプが点灯しないときは、パソコン本体の故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

パソコン本体の電源ランプが点灯しているとき

☹️➡️😊 マウスを軽く動かしてみてください。画面が表示されますか？
画面が表示されるときは、ディスプレイの省電力機能が働いていたものと考えられます。

☹️➡️😊 フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクやCD-ROMなどがセットされているときは、いったん取り出します。パソコン本体の電源スイッチを押して電源を切り、もう一度電源を入れなおしてください。

☹️➡️😊 ディスプレイの電源ランプが消えていませんか？

液晶ディスプレイセットモデルの場合、ディスプレイの電源ランプが点灯していないときは、いったんパソコン本体の電源を切ります。ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください、ディスプレイの電源を入れてから、パソコン本体の電源を入れなおしてください。

✓チェック!!

電源が入っているとき（省電力状態のときも含む）に、4秒以上電源スイッチを押し続けると強制的に電源が切れてしまうので注意してください。強制的に電源を切るともとの状態に復帰できなくなります。

📖参照

NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121ware ガイドブック』

メモ

フロッピーディスクやCD-ROMから起動したいときは、システムファイルが入ったものと入れ替えてから、電源を入れなおしてください。

☹️➡️😊 ディスプレイの輝度(明るさ)が小さくなっていませんか？
ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください、画面の輝度(明るさ)を調節してください。

☹️➡️😊 パソコン起動後にディスプレイの接続をおこなっていませんか？
パソコン起動後にディスプレイを接続してもディスプレイには何も表示されないことがあります。このような場合は、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けていったん強制的に電源を切り、もう一度電源を入れなおしてください。

☹️➡️😊 休止状態の間に、コンピュータの設定を変更したり周辺機器などの接続を変更しませんでしたか？
休止状態のときに周辺機器を接続したり、接続されていた周辺機器を取り外したりすると、Windowsが起動しなくなることがあります。その場合は、周辺機器の接続をもとの状態に戻して電源スイッチを押してください。

☹️➡️😊 パソコン本体やディスプレイのケーブルなどは正しく接続されていますか？
『セットアップシート』をご覧ください、もう一度パソコンの各ケーブルを接続しなおしてください。
すべて正しく接続されているのにディスプレイに何も表示されないときは、ディスプレイまたはパソコン本体の故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

✓チェック!!

パソコンの電源が入っているときは、添付のディスプレイとパソコン本体を接続するケーブルの抜き差しはおこなわないでください。電源が切れないときは、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

📖 参照

NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121ware ガイドブック』

「Windows 拡張オプション メニュー」が表示された

「セーフ モード」を選んで、【Enter】を押し、Windowsをセーフモードで起動します。

セーフモードで起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。

「スタート」メニューの「終了オプション」から「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、もとの状態に戻ります。
セーフモードで起動できなかった場合や、再起動しても問題が解決しなかった場合は、システムに障害が発生している可能性があります。システムの修復または再セットアップをおこなってください。

「オペレーティングシステムの選択」が表示された

「Microsoft Windows XP Home Edition」または「Microsoft Windows XP Professional」を選んで【Enter】を押してください。Windowsが起動します。

「再セットアップツール」が表示された

「終了」をクリックしてください。

パソコンの電源を入れたら、NECロゴが表示された後、画面がまっくらになる

電源を入れたら、「NEC」ロゴが表示された後、画面がまっくらになるときは、パソコンを「セーフモード」で起動してみてください。

画面に英語のエラーメッセージが表示される

「Checking file system on」と表示された場合

パソコンの電源を切る際に、Windowsは作業中のファイルをディスクに保存しなおすなどのいくつかの処理をおこないます。その処理が正しくおこなわれなかった場合に、このメッセージが表示されます。

このメッセージが表示された後しばらくすると、自動的に、ハードディスクに異常が発生していないかどうかチェックする処理が始まります。ハードディスクに異常がなければそのままWindowsが起動します。以降は問題なくお使いいただけます。Windowsが正常に起動しなかった場合は、画面にメッセージが表示されますので、その内容をよく読んで対処してください。

「Invalid system disk」、「Operating System not found」などのメッセージが表示された場合

 ⇒  フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクやCD-ROMなどを取り出してから、何かキー（【Enter】など）を押してください。ハードディスクからWindowsが起動します。

フロッピーディスクやCD-ROMなどがセットされていないのにこれらのメッセージが表示される場合は、ハードディスクがフォーマットされたか、システムが壊れていて起動できない状態になっています。システムの修復または再セットアップをおこなってください。

カーソルが表示されたきり、何も表示されない

☹️➡️😊 フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクやCD-ROMなどを取り出してから、再起動してください。

ハードディスク内のWindowsが起動します。

電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切ってしまった

パソコンに異常があると、電源を切っても電話回線が切断されない場合があります。その場合は一度、パソコンの電話回線用モジュラコネクタからモジュラケーブルを抜いてください。電話回線が切断されます。

パソコンの電源を切ると、ダウンロード中のデータは正常に保存されません。

パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない

BIOSセットアップユーティリティで、パソコンの使用環境を変更した後に、Windowsが起動しなくなったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してから、再起動してください。

- 1 別売の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、ご購入時の状態に戻します。
- 2 パソコン本体の電源を入れ、「NEC」のロゴマークが表示されたら【F2】を押します。
BIOSセットアップユーティリティの画面が表示されます。
- 3 【F9】を押します。
「Load Optimal Defaults?」の画面が表示されます。
- 4 「Ok」が選択されていることを確認して【Enter】を押します。
システムの設定が初期値に戻ります。
- 5 【F10】を押します。
「Save configuration changes and exit setup?」の画面が表示されます。
- 6 「Ok」が選択されていることを確認して【Enter】を押します。
システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

✓チェック!!

電話回線を使うソフトを起動しているときは、ソフトを終了させてから電源を切ってください。

✓チェック!!

「BIOS セットアップユーティリティ」で設定したパスワードは、左の操作をおこなっても初期値には戻りません。

📖参照

BIOS セットアップユーティリティについて→🔗「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「BIOSセットアップユーティリティ」

✓チェック!!

- ・ 手順2で【F2】を押してもBIOSセットアップユーティリティの画面が表示されないときは、いったん電源を切り、再度電源を入れて、何度か【F2】を押してください。
- ・ ディスプレイの特性により手順2で「NEC」のロゴ画面が表示されず【F2】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、キーボードのNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F2】を何度か押してください。

省電力機能

省電力状態(休止状態/スタンバイ状態)からもとの状態に戻れなくなったときや、省電力機能が使えないときは、ここをご覧ください。

省電力状態になる前の状態の画面が表示されない

省電力状態からもとの状態に戻るときは、パソコン本体の電源スイッチを押します。パソコン本体の電源スイッチを押してももとに戻らない場合は、次の点を確認してください。

☹️➡️😊 ソフトや周辺機器は省電力機能(休止状態/スタンバイ)に対応していますか？

対応していないソフトや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなソフトや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。

☹️➡️😊 電源ケーブルは正しく接続されていますか(スタンバイ状態のとき)？

電源ケーブルを正しくコンセントに接続します。電源ケーブルが正しく接続されていなかった場合、作業内容は保持(記憶)されません。

☹️➡️😊 スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルが抜けたりしませんでしたか？

スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルが抜けたりすると、保持(記憶)された内容は消えてしまいます。

☹️➡️😊 スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか？

スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持(記憶)した内容は消えてしまいます。

☹️➡️😊 フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされている状態で省電力状態から復帰すると、正しく復帰できずにフロッピーディスクやCD-ROMから起動してしまうことがあります。

省電力状態にする場合には、フロッピーディスクやCD-ROMを取り出してから省電力状態にするようにしてください。なお、フロッピーディスクを取り出す前に、必要なファイルは保存してください。

📖 参照

省電力機能について→🔍「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「省電力機能」

省電力状態にする前の内容の復元が保証されない場合

次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。

- ・省電力状態にする前の内容の記憶中、または復元中にCD-ROMなどを入れ替えたとき
- ・省電力状態にする前の内容の記憶中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
- ・省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。

- ・プリンタで印刷しているとき
- ・モデムなどを使って通信中のとき
- ・サウンド機能により音声を再生しているとき
- ・ハードディスクを読み書き中のとき
- ・CD-ROMなどを読み取り中のとき
- ・省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

✓チェック!!

省電力状態からの復帰(再開)に失敗したときは、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、省電力状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

パスワード

Windowsを起動したときにパスワードを入力してもログオンできない場合や、パスワードを忘れてしまった場合は、ここをご覧ください。

パスワードを入力すると「パスワードを忘れてしまいましたか?」と表示される

☹️⇒😊 Caps Lock(キャップスロックキーランプ)が点灯していませんか?

キャップスロックキーランプは、キーボード上側に付いています。キャップスロックキーランプが点灯しているときは英字の入力が大文字入力になります。【Shift】を押しながら、【Caps Lock】を押して、キャップスロックを解除してから、パスワードを入力しなおしてください。

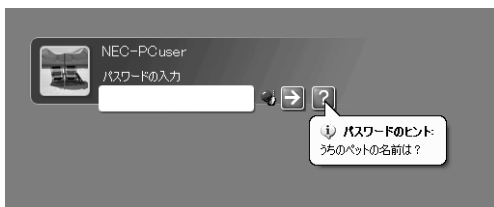
☹️⇒😊 Num Lock(ニューメリックロックキーランプ)は点灯していますか?

ニューメリックロックキーランプは、キーボード上側に付いています。ニューメリックロックキーランプが点灯しているときは、テンキーを使って数字の入力ができます。【Num Lock】を押して、ニューメリックロックをしてから、パスワードを入力しなおしてください。

パスワードを忘れてしまった

Windows のパスワードを忘れてしまったとき

「ようこそ」画面のパスワード入力欄の右の「?」をクリックしてください。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、その「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してみてください。



どうしてもパスワードを思い出せない場合は、パスワードを設定しなおす必要があります。「マルチユーザー機能」でこのパソコンに、「コンピュータの管理者」などほかのユーザーのパスワード変更ができる権限を持つユーザー名をほかに登録してあれば、そのユーザー名でログインして、「コントロールパネル」の「ユーザーアカウント」で、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを設定しなおしてください。詳しくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

ユーザパスワード、スーパーバイザパスワードを忘れてしまったとき

BIOSセットアップユーティリティで設定したこれらのパスワードを忘れてしまった場合は、パソコンを起動できません。NEC 121コンタクトセンターにご相談ください。

✓チェック!!

- ・ほかのユーザー名でログインしてパスワードを設定しなおすと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Webサイトまたはネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。
- ・「制限ユーザー」として登録されたユーザー名でログインした場合、左のパスワードの設定操作はできません。

その他

ここまでで、あなたのパソコンのトラブルが見つからなかったときは、ここをご覧ください。ここでも見つからないときは、「サポートナビゲーター」やほかのマニュアル、ヘルプ、Readme ファイルをご覧ください。

ウイルスに感染したらしい

コンピュータウイルスに感染した場合は、すぐにインターネット接続のために使っている電話回線のコードやLANケーブルをパソコンから取り外し、ウイルス対策ソフト「マカフィー・ウイルススキャン」を使って、ウイルスを駆除し、被害を届け出ましょう。

 参照

②「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」

パソコンを落とした

外観上、特に問題なさそうなら、とりあえず電源を入れてみてください。正常に動作するようならば、ひと安心です。万一、電源を入れたときに変な音がしたり、動かなかったりしたら、すぐ電源ケーブルをコンセントから抜いて、NEC 121 コンタクトセンターにご相談ください。

画面にノイズが現れたり、フリーズしやすい

BIOSセットアップユーティリティで、システムの設定をご購入時の状態から変更している場合に不具合が生じる場合があります。次の手順で設定内容を確認してください。

- 1 パソコンの電源を入れ、「NEC」のロゴマークが表示されたら[F2]を押します。
BIOSセットアップユーティリティの画面が表示されます。
- 2 [←][→]でメニューバーの「Advanced」を選び、[Enter]を押します。
- 3 「Cool'n' Quiet」の値が「Disabled」であることを確認します。
「Cool'n' Quiet」の値が「Enabled」の場合は、次の手順に進んで値を変更してください。
- 4 「Cool'n' Quiet」で「Disabled」を選び、[Enter]を押します。
- 5 [F10]を押します。
「Save configuration changes and exit setup?」の画面が表示されます。
- 6 「Ok」が選択されていることを確認して[Enter]を押します。
システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

 チェック!!

「Cool'n' Quiet」の値は、「Disabled」から変更しないでください。

付 録

レイド RAID 機能について (RAID モデルのみ)

RAID機能を使えば、より高速で信頼性の高いシステムを構築できます。

RAID 機能とバックアップについて

RAID (Redundant Array of Inexpensive Disks) とバックアップとは異なります。RAID 機能はデータの安全性を向上させる技術ですが、完全なデータ保護を保証するものではなく、RAID 機能を搭載しているモデルであってもバックアップの必要性がなくなるわけではありません。大切なデータを失わないために定期的にデータのバックアップを取ることをおすすめします。

RAID 機能とは

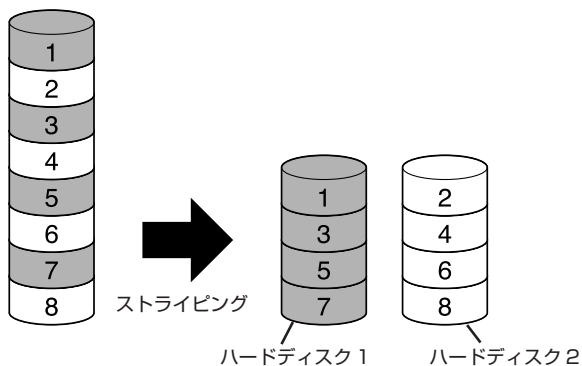
RAID とは、複数のハードディスクをまとめて 1 台のハードディスクとして管理する技術です。RAID 機能を活用することにより、次の効果が期待できます。

- ・データの安全性向上
ハードディスク障害時のデータ損失を防ぎます。
- ・データ処理の高速化
ハードディスクへの読み込み、および書き込みの速度を高速化します。

このパソコンのRAID 機能には、4 つのレベルがあります。それぞれ使用可能なハードディスクの構成、データの安全性、処理の速さが異なります。

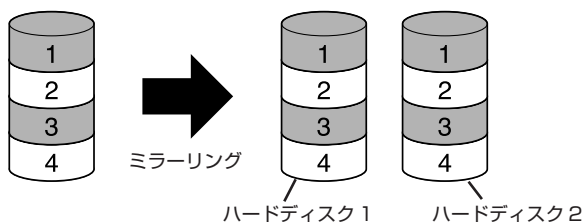
● RAID0 (ストライピング)

2台以上のハードディスクを1つの大きなハードディスクとみなし、データを読み書きする技術です。データの読み込み、書き込みの速度が、RAID0を構成していない状態に比べて高速化されるというメリットがあります。ハードディスク障害時に重要なデータを保護する機能はありませんが、大容量のデータを取り扱いたい場合に適しています。



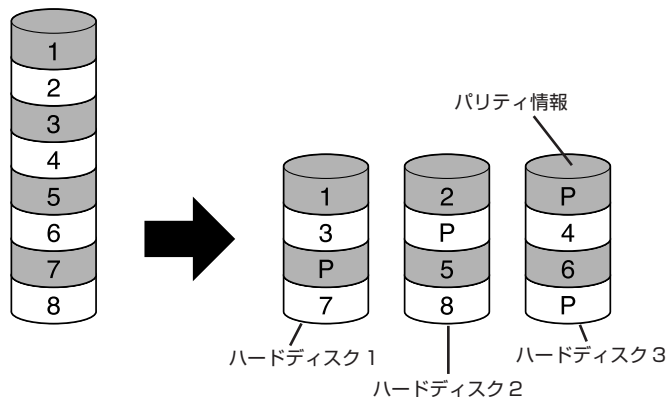
● RAID1 (ミラーリング)

2台のハードディスクに対して、同じデータを同時に書き込む技術です。そのため、データの安全性に優れており、一方のハードディスクに障害が起きた場合でも、もう一方のハードディスクのデータが無事な場合は、稼動し続けることができます。搭載しているハードディスク容量の半分しか使えませんが、重要なデータの保存に適しています。



● RAID5

3台以上のハードディスクを1つの大きなハードディスクとみなしデータを書き込む技術です。パリティ情報(誤り訂正符号)を書き込むことでデータの安全性を確保しています。パリティ情報は、ハードディスク1台分の容量を占めます。また、パリティ情報を算出するためデータの書き込みに若干時間がかかってしまいます。



RAID5の構成で使用中に、停電や電源コンセントの引き抜き、電源ボタン長押しによる強制終了といった不意の電源断が起こると、直後の再起動でRAIDボリュームのパリティ初期化がおこなわれる場合があります。これはハードディスクの故障ではありませんが、パリティ初期化の完了を待ってご使用ください。

パリティ初期化中は通常のWindows動作が遅く感じられることがあります。またハードディスクの読み書きをおこなうような動作は避けてください。

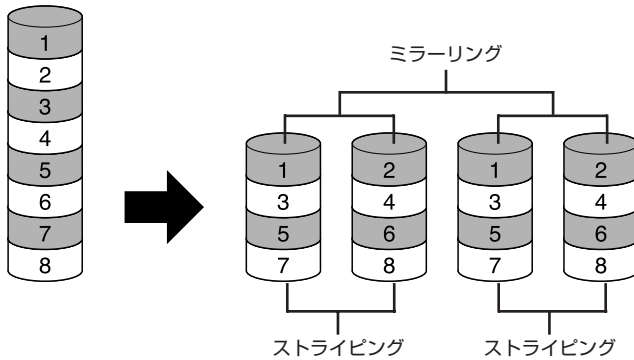
特にTV録画再生についてはコマ落ちなどの原因になりますので、パリティ初期化が完了するまではおこなわないでください。

RAIDボリュームのパリティ初期化がおこなわれる場合、画面右下のポップアップウィンドウで通知されます。

 **RAID ボリュームのパリティを初期化中** 
RAID ボリュームはパリティを初期化しています。

● RAID10 (RAID0+1)

RAID0 のストライピングと RAID1 のミラーリングの両機能を同時に実現している技術です。最低 4 台のハードディスクが必要になります。RAID0のデータの処理速度と、RAID1と同様のデータの安全性を同時に実現します。



各RAIDレベルの特徴を「使用可能な容量」「データの安全性」「処理速度」から比較すると次の表のようになります。

	使用可能な容量	データの安全性	処理速度
RAID0	搭載している全容量	低い	速い
RAID1	全容量の半分	高い	若干遅い
RAID5	全体からハードディスク1台分を差し引いた容量	高い	RAID1より速く RAID0より遅い
RAID10	全容量の半分	高い	速い

✓チェック!!

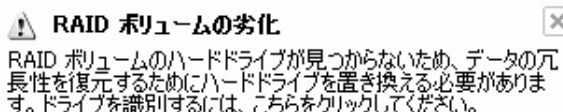
- ・ RAID1/5/10 はデータの安全性を向上させる技術ですが、完全なデータ保護を保証するものではありません。定期的なデータのバックアップを取ることをおすすめします。
- ・ 電源を入れた後にIntel(R) Matrix Storage Manager option ROMが表示された場合は【Esc】の後、【Y】を押してメニューを終了させてください。このパソコンでは、Intel(R) Matrix Storage Manager option ROMを利用したRAIDの設定変更はサポートしていません。ハードディスクのデータがすべて消去される可能性がありますのでご注意ください。

ハードディスク障害が発生したときには

RAID1/5/10では、1つのハードディスクに障害が発生しても、データが保護され、動作可能な場合があります。すぐにデータのバックアップを取り、修理を依頼してください。

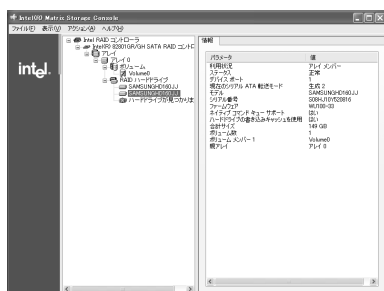
●メッセージを確認する

ハードディスクが故障した場合、画面の右下のポップアップウィンドウで通知されます。



●修理を依頼する

- 1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Intel(R) Matrix Storage Manager」-「Intel Matrix Storage Console」をクリック
Intel Matrix Storage Consoleの画面が表示されます。



- 2 「表示」メニューから「詳細モード」を選択
- 3 「RAIDハードドライブ」配下にあるそれぞれのハードドライブの「デバイスポート」を確認
Intel Matrix Storage Console画面の左側のエリアのハードドライブをクリックすると、右側の情報エリアで「デバイスポート」が確認できます。ここで欠番となっている番号のデバイスポートのドライブが故障しているドライブになります。
- 4 必要なデータのバックアップを取る
必要なデータのバックアップを取ります。詳しくは、PART2の「データのバックアップを取る」(28ページ)をご覧ください。
- 5 再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成する
再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成していない場合は、ここで作成してください。手順について詳しくは、PART2の「再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成する」(40ページ)をご覧ください。

6 修理を依頼

NEC 121コンタクトセンターにご連絡ください。

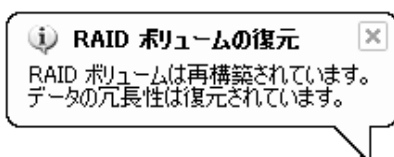
 0120-977-121

※電話番号をよくお確かめになり、おかけください。

詳しくは、『121wareガイドブック』をご覧ください。

● RAID を再構築する

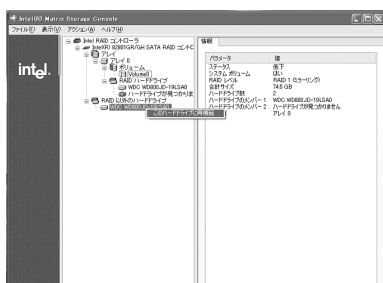
新しいハードディスクに交換した後は、RAID構成の復旧作業をおこないます。ハードディスクの交換後、Intel® Matrix Storage Managerが自動的にRAID構成の再構築をおこなう場合、画面右下のポップアップウィンドウで通知されます。



経過を次の手順で確認することができます。

- 1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Intel(R) Matrix Storage Manager」-「Intel Matrix Storage Console」をクリック
Intel Matrix Storage Consoleの画面が表示されます。
- 2 「表示」メニューから「詳細モード」を選択
- 3 左側の表示エリアで「ボリューム」配下にある該当するボリューム名を選択
右側の表示エリアの「ステータス」に「再構築中：××%完了」と表示されます。再構築が完了したら、「ステータス」は「正常」と表示されます。

自動での再構築に失敗した場合は、Intel® Matrix Storage Managerのポップアップメッセージとして「RAID ボリュームは劣化されましたが、再構築できる可能性があります」が表示されます。この場合は、Intel Matrix Storage Consoleの画面上で再構築をおこないます。



「RAID以外のハードドライブ」配下に表示されているハードドライブを右クリックし、「このハードドライブに再構築」または「スペアとしてマーク」を選択します。画面の指示にしたがってRAIDの再構築をおこなってください。それでも、再構築できない場合は、次の「再セットアップしてRAIDを再構築する」(p.70)をご覧ください。

✓チェック!!

- ・ Intel® Matrix Storage Managerをアンインストールしてしまっていると、自動でのRAIDの再構築ができません。「Intel® Matrix Storage Managerについて」(p.71)をご覧ください。
- ・ RAID再構築中に電源オフ、または休止状態に入った場合、再構築処理は中断されます。パソコンの再起動後、再構築処理は中断された時点から再度実行されます。

●再セットアップしてRAIDを再構築する

- 1 再セットアップ用DVD/CD-ROMで再セットアップする
再セットアップ用DVD/CD-ROMで再セットアップをおこない、RAID構成を再構築します。
詳しくは、PART2の「再セットアップ用DVD/CD-ROMを使って再セットアップする」(p.43)をご覧ください。
- 2 バックアップデータを復元する
再セットアップをおこなった場合は、ハードディスクのデータは消去されています。ハードディスク交換依頼前に作成しておいたバックアップデータを復元してください。

RAID レベルを変更するには

- ・RAID0、およびRAID1を構成するには最低2台のハードディスクが必要になります。
- ・RAID5を構成するには最低3台のハードディスクが必要になります。
- ・RAID10を構成するには最低4台のハードディスクが必要になります。
- ・このパソコンでは、RAID0からRAID5に変更できません。
- ・ご購入時のハードディスク構成のみ保証しています。ハードディスクを交換、増設してRAIDを再構成した場合は動作保証の対象とはなりませんのでご了承ください。

●再セットアップしてRAIDレベルを変更する

- 1 必要なデータのバックアップを取る
再セットアップでRAIDレベルを変更すると、ハードディスクに保存されているデータは消去されます。必要なデータのバックアップを取ってください。バックアップについて詳しくは、PART2の「データのバックアップを取る」(p.28)をご覧ください。
- 2 再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成する
再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成していない場合は、ここで作成してください。手順について詳しくは、PART2の「再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成する」(p.40)をご覧ください。
- 3 再セットアップ用DVD/CD-ROMで再セットアップする
再セットアップ用DVD/CD-ROMで再セットアップをおこない、RAIDレベルを変更します。手順について詳しくは、PART2の「再セットアップ用DVD/CD-ROMを使って再セットアップする」(p.43)をご覧ください。

✓チェック!

- ・RAIDの再構築中はハードディスクの読み書きをおこなうような動作は避けてください。再構築完了後におこなってください。特にTV録画再生についてはコマ落ちなどの原因になりますので再構築中はおこなわないでください。
- ・パソコンの動作中は、正しい手順で電源を切ってください。Windowsが起動しなくなることがあります。

4 バックアップデータを復元する

再セットアップをおこなった場合は、ハードディスクのデータは消去されています。手順1で作成しておいたバックアップデータを復元してください。

一般的には、ハードディスクを交換、増設してRAIDを構成するためには、すでに取り付けられているハードディスクとまったく同じ容量、もしくは大きい容量のものであれば設定できません。メーカーが異なると、同じ表示容量のハードディスクでもシステムが認識する容量が異なる場合がありますのでご注意ください。(このパソコンでは、ハードディスクを交換、増設してRAIDを再構成することは動作保証の対象外です)

Intel® Matrix Storage Manager について

Intel® Matrix Storage Manager は、Windows 上で次のことをおこないます。

- ・ RAIDの状態表示
- ・ RAIDの状態が劣化した場合の警告表示
- ・ RAIDの再構築

削除してしまうと、これらの機能が利用できなくなります。Intel Matrix Storage Console をアンインストールしないでください。

使い方については、Intel® Matrix Storage Managerのヘルプをご覧ください。

- ・ 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Intel(R) Matrix Storage Manager」-「ヘルプ」

● 誤ってアンインストールしてしまったら

次の手順で再インストールしてください。

- 1 「スタート」-「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 「名前」に「C:¥WINXP¥MBRD_UTL¥SETUP.EXE」と入力し、「OK」をクリック
これ以降の操作は画面の指示にしたがってください。
- 3 インストールが完了したら、パソコンを再起動する

✓ チェック!!

このインストール手順は、インストール可能 OS 用ドライバが「C:¥WINXP¥MBRD_UTL」にあることを前提としています。

パソコンのお手入れ

パソコンは精密機械なので、日頃のお手入れが欠かせません。マウスやキーボードも、こまめに清掃することで長く快適に使用できます。

日頃のお手入れのしかた

準備するもの

軽い汚れのとき



乾いたきれいな布を用意します

汚れがひどいとき



水かぬるま湯を含ませて、よくしぼった布を用意します

その他、こんなものがあると便利です。

- ・OA用クリーニングキット
- ・中性洗剤
- ・掃除機、など

電源を切って、電源ケーブルを外す

お手入れの前には、必ずパソコン本体や周辺機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

電源を切らずにお手入れを始めると、感電することがあります。

✓チェック!!

- ・OA 機器用クリーニングキットも汚れをふき取るのに便利です。OA 機器用クリーニングキットについては、NEC 121 コンタクトセンターへお問い合わせください。
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や揮発性の有機溶剤を含む化学ぞうきんは、使わないでください。キーボードなどを傷め、故障の原因になります。

📖 参照

NEC 121 コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121ware ガイドブック』

清掃する

※ イラストはイメージ図です。

パソコン本体

やわらかい布でふいてください。

汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

パソコンの内部

長期間使うと、ホコリがたまるので、定期的に清掃してください。

ディスプレイ

やわらかい布でふいてください。

化学ぞうきんやぬらした布は使わないでください。

キーボード

やわらかい布でふいてください。

汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

キーのすきまからゴミなどが入ったときは、掃除機などで吸い出します。

マウス

やわらかい布でふいてください。

汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

✓チェック!!

水やぬるま湯は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。

電源ケーブル

電源ケーブルのプラグを長期間コンセントに接続したままにすると、プラグにホコリがたまることがあります。定期的にやわらかい布でふいて、清掃してください。

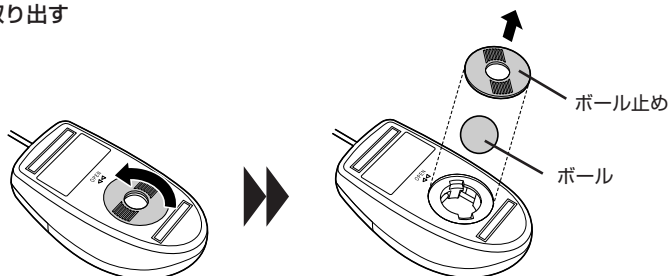
✓チェック!!

マウスのローラーやボールの清掃については、この次の「マウスのローラーやボールのクリーニング」をご覧ください。

マウスのローラーやボールのクリーニング

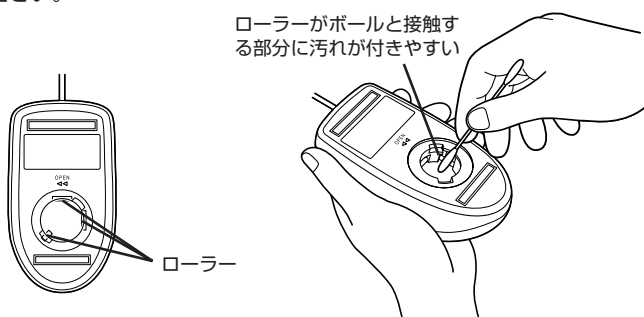
マウス内部のローラーやボールが汚れると、マウスの反応が悪くなります。油分が付着すると故障の原因になる場合もあります。特にローラーは汚れがたまりやすいので、定期的にクリーニングしてください。

- 1 マウス裏側のボール止めを矢印の方向にまわして取り外し、ボールを取り出す



- 2 ボールを中性洗剤で洗って汚れを落とす
洗った後は、必ず水で洗剤を洗い落とし、乾いた布で水分をよくふき取って乾燥させてください。

- 3 マウス内部のローラーの汚れを、水分を含ませた綿棒でこすり落とす
汚れが落ちにくいときは、やわらかい歯ブラシなどで汚れを取ってください。このとき、歯ブラシに水や歯磨き粉などを付けないでください。



- 4 ボールをマウスに戻し、ボール止めを取り付けて手順1と反対の方向にまわして固定する

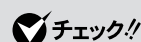
✓チェック!!

- ・ 取り外したボールやボール止めを、小さなお子さんが誤って飲み込んだりしないようにご注意ください。
- ・ クリーニング中にマウス内部にゴミが入らないようにご注意ください。
- ・ ローラーの汚れを取るときには、金属ブラシやカッター、ヤスリなど硬いものは絶対に使用しないでください。ローラーに傷が付き、故障の原因になります。

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスについては、NEC 121コンタクトセンターへお問い合わせください。詳しくは、『121ware ガイドブック』をご覧ください。



NEC 121コンタクトセンターなどにこのパソコンの修理を依頼される場合は、設定したパスワードは解除しておいてください。

消耗品 / 有寿命部品について

このパソコンには、消耗品と有寿命部品が含まれています。安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。特に長期間連続して使用する場合には、安全などの観点から早期の部品交換が必要です。

消耗品と有寿命部品は次のとおりです。

種類	内容説明	該当品または部品(代表例)
消耗品	使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。お客様ご自身でご購入いただき、交換していただくものです。本体の保証期間内であっても有償となります。	CD-ROMディスク、DVD-ROMディスク、SDメモリーカード、メモリースティック、バッテリー、乾電池など
有寿命部品	使用頻度や経過時間、使用環境によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。本体の保証期間内であっても部品代は有償となる場合があります。詳しくは、NEC 121コンタクトセンターの故障診断・修理受付窓口にご相談ください。	ディスプレイ、ハードディスクドライブ、DVD/CDドライブ、キーボード、マウス、ファン

- ・記載部品は代表例です。機種により構成部品が異なります。詳しくはこの後の「仕様一覧」をご覧ください。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で1年365日として約5年です。上記期間はあくまでも目安であり、上記期間中に故障しないことや無償修理をお約束するものではありません。
また、長時間連続使用等のご使用状態や、温湿度条件等のご使用環境によっては早期に部品交換が必要となり、製品の保証期間内であっても有償となることがあります。
- ・本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、PC本体、オプション製品については製造打切後6年です。

パソコンの譲渡、廃棄、改造について

このパソコンを譲渡するには

●譲渡するお客様へ

このパソコンを第三者に譲渡(売却)する場合は、次の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと。
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと。
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除した後、譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)。

※ 第三者に譲渡(売却)する製品をお客様登録している場合は、121ware.comのマイアカウント(<http://121ware.com/my/>)の保有商品情報で削除いただくか、またはEメールアドレスwebmaster@121ware.com宛にご連絡ください。

✔チェック!!

パソコン内のハードディスクには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように、譲渡の際にはこれらの情報を削除することをおすすめします。このパソコンのハードディスクのデータを消去する方法については、PART2の「再セットアップ用DVD/CD-ROMを使って再セットアップする」(p.43)をご覧ください。

●譲渡を受けたお客様へ

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」での登録をお願いします。

<http://121ware.com/my/> にアクセス

●はじめて登録するかた

「新規登録はこちら」をクリックして登録

●以前ハガキ、オンライン、FAXなどで登録されたかた

「インターネット以外の方法でご登録済みの方はこちら」をクリックして登録

●すでにログインIDをお持ちのかた

「ログイン」をクリックして、ログイン後、保有商品情報の「新規・追加登録」で登録

インターネットに接続できないかたは、お客様登録に必要な次の事項を記入し、郵送してください。

記載内容

1. 本体型番、型名のいずれかと保証書番号

(本体背面/側面または保証書に記載の型番/型名のいずれかと製造番号)

2. 氏名、住所、電話番号、Eメールアドレス、中古購入された場合はそのご購入先、ご購入日

3. 121ware お客様登録番号

(以前登録されてすでに「121wareお客様登録番号」をお持ちのかたは、記入をお願いします。)

宛先

〒143-8691 東京都大森郵便局 私書箱5号

NEC121ware 登録センター係

このパソコンを廃棄するには

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく回収再資源化対応製品です。

PCリサイクルマークが銘板（パソコン本体の側面または背面に型番や製造番号が記載されているラベル）に表示されている、または、PCリサイクルマークのシールが貼り付けられている弊社製品は弊社が責任をもって回収・再資源化いたします。

当該製品をご家庭から排出する際、弊社規約に基づく回収・再資源化にご協力頂ける場合は、別途回収再資源化料金をご負担いただく必要はありません。

廃棄時の詳細については、NEC パーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」(URL: <http://121ware.com/support/recyclese1/>) をご覧ください。

なお、下記の窓口でも廃棄についてお問い合わせいただけます。

NEC 121コンタクトセンター

廃棄のお問い合わせ 受付時間：9:00～17:00（祝日は除く）



0120-977-121

電話番号はよくお確かめになり、お間違えのないようにおかけください。携帯電話、PHSなどフリーコールをご利用いただけないお客様は下記電話番号へおかけください。

03-6670-6000（東京）（通話料はお客様負担となります）

当該製品が事業者から排出される場合（産業廃棄物として廃棄される場合）当社は資源有効利用促進法に基づき、当社の回収・リサイクルシステムにしたがって積極的に資源の有効利用につとめています。

廃棄時の詳細については、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください。

(URL: http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/shigen_menu.html)



本文に記載された電話番号や受付時間などは、将来予告なしに変更することがあります。

ハードディスク、メモリーカード上のデータ消去に関するご注意

本内容は「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」の趣旨に添った内容で記載しています。詳細は以下のホームページをご覧ください。

<http://it.jeita.or.jp/perinfo/release/020411.html>

パソコンのハードディスクやメモリーカードには、お客様が作成、使用した重要なデータが記録されています。このパソコンを譲渡または廃棄するときに、これらの重要なデータ内容を消去することが必要となります。「データやファイルの消去」、「ハードディスクの初期化（フォーマット）」、「メモリーカードの初期化（フォーマット）」、「パソコンの再セットアップ」などの操作をおこなうと、記録されたデータの管理情報が変更されるためにWindowsでデータを探すことはできなくなりますが、ハードディスクやメモリーカードに磁気的に記録された内容が完全に消えるわけではありません。

このため、データ回復用の特殊なソフトウェアを利用すると、ハードディスクやメモリーカードから消去されたはずのデータを読み取ることが可能な場合があり、悪意のある人によって予期しない用途に利用されるおそれがあります。

お客様が廃棄・譲渡などをおこなう際に、ハードディスクおよびメモリーカード上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、記録された全データをお客様の責任において完全に消去することが非常に重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス（ともに有償）を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊（メモリーカードの場合は、金槌による物理的破壊のみ）して、読めなくすることを推奨します。有償のデータ消去サービスは、NEC フィールディング株式会社にご依頼ください。

NEC フィールディングホームページ URL：

<http://www.fielding.co.jp>

また、ハードディスクやメモリーカード上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなく譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。十分な確認をおこなってください。

パソコンの改造はおこなわない

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。

記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外となることがあります。

チェック!!

パソコンの再セットアップでデータが消去されるのは、このパソコンに内蔵されたハードディスクのみです。

仕様一覧

本体仕様一覧

MT850/3A、MT800/3A、MT600/3A

型名	MT850/3A			MT800/3A	MT600/3A
型番	PC-MT8503A			PC-MT8003A	PC-MT6003A
インストールOS・サポートOS	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 2 ※1				
CPU	インテル® Pentium® D プロセッサ 830 (3GHz) ※3			インテル® Pentium® D プロセッサ 820 (2.80GHz)	HTデクノジ※2 インテル® Pentium® 4 プロセッサ 630 (3GHz) ※3
	キャッシュ	1次	12K μ 命令実行トレース×2/16KBデータ×2		12K μ 命令実行トレース/16KBデータ
	メモリ	2次	1MB×2		
	バスクロック	システムバス	800MHz		
	メモリバス	533MHz			
チップセット	Intel社製 82945G / 82801GR				
メインメモリ	標準容量／最大容量 ※4		標準512MB ※5(256MB×2：デュアルチャネル対応)／最大4GB ※6[DDR2 SDRAM、PC2-4200対応] ※最大4GB搭載可能ですが、3.5GBまでご利用になれます。 ※7		
表示機能	スロット数		DIMMスロット×4[空き2]		
	グラフィックアクセラレータ		Intel社製 82945Gに内蔵		
	ビデオRAM		標準AUTO可変 (最大128MB) ※5		
	最大表示色 (表示解像度)	本機のサポートする表示モード ※8	アナログディスプレイ 最大約1,677万色 (1,600×1,200, 1,280×1,024, 1,024×768, 800×600)		
ドライブ	ハードディスクドライブ ※9		約500GB(約250GB×2)(Serial ATA、高速7,200回転/分) ※10 ※出荷時RAIDO構成です。		約250GB(Serial ATA、高速7,200回転/分)
			約160GB(Serial ATA、高速7,200回転/分)		
	Windows®システムから認識される容量 ※11	CDドライブ/空き容量	約455GB/約451GB		約222GB/約217GB
		Dドライブ/空き容量	約6.5GB/約6.4GB		約138GB/約135GB
DVD/CDドライブ (詳細は別表をご覧ください) ※12	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW)内蔵(バックアッパウンダーランエラー防止機能付き) [DVD-R/R+ 2層書込み]				
サウンド機能	フロッピーディスクドライブ ー [別売、専用オプション(PC-VP-WU32) ※13]				
	スピーカ 外付けステレオスピーカ (0.5W+0.5W)				
	音源／サウンド機能 PCM録音再生機能(ステレオ/モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8-48KHz、全二重化対応)、MIDI音源機能(ソフトウェアMIDI<GM、GS演奏モード対応、DLS2対応※14>)、マイクノイズ除去機能、3Dボジョナルサウンド				
通信機能	サウンドチップ ADI社製 AD1981B搭載				
	LAN 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応				
拡張スロット	FAXモデム ※15 データ通信：最大56Kbps ※16(V.90対応)/FAX通信：最大14.4Kbps(V.17)、Resume On Ring機能対応				
	PCI Express ×16スロット(フルハイ、ハーフ) ×1[空き1] PCIスロット(ハーフ) ×3[空き2]				
ベイ	5型ベイ：2スロット(DVD/CDドライブで1スロット占有済) [空き1]、内蔵3.5型ベイ：4スロット(ハードディスクドライブで2スロット占有済) [空き2] ※17		5型ベイ：2スロット(DVD/CDドライブで1スロット占有済) [空き1]、内蔵3.5型ベイ：4スロット(ハードディスクドライブで1スロット占有済) [空き3] ※17		
入力装置	キーボード PS/2フルサイズキーボード(テンキー付き、ワンタッチスタートボタン付き)				
	マウス PS/2ボールマウス(スクロール機能付き)				
外部インターフェイス	USB コネクタ4ピン×7(本体リア×6、本体フロント×1)[USB 2.0]				
	ディスプレイ ミニD-sub15ピン				
	PS/2 ミニDIN6ピン×2 ※18				
	FAXモデム RJ11 モジュラコネクタ×2(LINE×1、TELEPHONE×1)				
	LAN RJ45コネクタ×1				
	パラレル D-sub25ピン×1				
	シリアル D-sub9ピン×1				
	サウンド関連	ライン入力	ステレオミニジャック×1(入力インピーダンス 20k Ω 、入力レベル 1Vrms)		
		ライン出力	ステレオミニジャック×1 ※19、ヘッドフォン出力と共用(出力インピーダンス 10k Ω 、出力レベル 1Vrms)		
		マイク入力	ステレオミニジャック×1(マイク入力インピーダンス 20k Ω 、入力レベル 5mVrms、バイアス電圧3.7V)		
		ヘッドフォン出力	(ライン出力と共用)		
	カードスロット	メモリーカード	(対応ヘッドフォンインピーダンス 16 Ω -100 Ω [推奨32 Ω] ※20、出力電力 5mW/32 Ω)		
外形寸法	本体(突起部除く)		7メディア対応カードスロット (SDメモリーカード※21、メモリースティック※22、xDピクチャーカード※23、スマートメディア※24、コンパクトフラッシュ、マルチメディアカード※25、マイクロドライブ※26)		
	キーボード		175(W)×420(D)×381(H)mm		
質量	本体		491(W)×213(D)×40(H)mm		
	キーボード/マウス		約13kg 約12kg		
電源	約875g/約110g				
消費電力	標準／最大/スタンバイ状態時		AC100V±10%、50/60Hz		
エネルギー消費効率 (省エネ基準達成率) ※27	約115W/約409W/約6W		約99W/約378W/約6W		
電圧降下対策	P区分 0.00022(AAA)		P区分 0.00023(AAA)		
電波障害対策	VCCI ClassB		P区分 0.00042(AAA)		
温湿度条件	10～35℃、20～80%(ただし結露しないこと)				
主な添付品	マニュアル、電源ケーブル、電話回線ケーブル				

DVD/CD ドライブ仕様一覧

シリーズ	ValueOne MT
ドライブ	DVDスーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW)内蔵(バッファアンダーランエラー防止機能付き) [DVD-R/+R 2層書込み] ※ 12
DVD-RAM読出し ※ 28	最大5倍速
DVD-RAM書換え ※ 28 ※ 29	最大5倍速
DVD+R(1層)書込み	最大16倍速
DVD+R(2層)書込み ※ 30	最大4倍速
DVD+RW書換え	最大8倍速
DVD-R(1層)書込み ※ 31	最大16倍速
DVD-R(2層)書込み ※ 32 ※ 33 ※ 34	最大4倍速
DVD-RW書換え ※ 35	最大6倍速
DVD読出し	最大16倍速
CD読出し ※ 36	最大40倍速
CD-R書込み	最大40倍速
CD-RW書換え ※ 37	最大10倍速

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

- ※ 1 添付のソフトウェアは、インストールされているOSでのみご利用できます。Windows® XP Home Editionでは、ネットワークでドメインに参加する機能はありません。別売のWindows® XP Home Editionパッケージや別売のWindows® XP Professionalパッケージをインストールおよび利用することはできません。
- ※ 2 ソフトウェアやドライバがHTテクノロジーに対応している必要があります。各ソフトウェアメーカ、周辺機器メーカにお問い合わせください。
- ※ 3 使用環境や負荷によりCPU動作スピードをダイナミックに変化させる制御機能を搭載しています。
- ※ 4 他社製の増設メモリの装着は、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は各メーカにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。
- ※ 5 ビデオRAMは、メインメモリを使用します。
- ※ 6 最大メモリ容量にする場合、本体に実装されているメモリを取り外して、増設メモリ(PC2-4200対応-DDR2-533MHzメモリ)[1GB]を4枚実装する必要があります。増設メモリは、PK-UG-ME039(256MB)、PK-UG-ME040(512MB)、PK-UG-ME041(1GB)を推奨します。
- ※ 7 最大で4GBのメモリまで増設可能ですが(4枚の1GB増設メモリを使用時)、コンピュータ内の特定コンポーネント(システムROM、PCIデバイスなど)は、4GBの範囲内にアドレス空間を必要としますので、実際に本機で使用できるメモリ容量は最大で3.5GBになります。
- ※ 8 グラフィックアクセラレータのサポートする表示モードです。実際に表示できるモードは接続するディスプレイにより異なります。
- ※ 9 1GBを10億バイトで計算した場合の数値です。
- ※ 10 再セットアップによりRAIDレベル変更可能。HDDの増設および設定変更によって発生した不具合については保証・サポートの対象外となります。
- ※ 11 右記以外の容量は再セットアップ用領域として占有されます。
- ※ 12 使用するディスクによっては、一部の書込み/読み出し速度に対応していない場合があります。
- ※ 13 2モード(720KB/1.44MB)に対応しています(ただし、720KBモードのフォーマットは不可です)。
- ※ 14 DLSは「DownLoadable Sounds」の略です。DLSを使うと、カスタム・サウンド・セットをSoundMAXシンセサイザにロードできます。
- ※ 15 回線状態によっては、通信速度が変わる場合があります。また、内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。
- ※ 16 最大56Kbpsはデータ受信時の理論上の最大速度です。データ送信時は最大33.6Kbpsになります。
- ※ 17 増設によって発生した不具合については保証・サポートの対象外となります。
- ※ 18 本機のPS/2端子は添付のキーボード、マウスのみ動作確認を行っております。
- ※ 19 外付けスピーカを接続します。
- ※ 20 周波数特性を保証する値ではありません。
- ※ 21 SDメモリーカードの、著作権保護機能には対応していません。「miniSDカード」をご使用の場合には、必ずminiSDカードアダプタをご利用ください。詳しくは「miniSDカード」の取扱説明書をご参照ください。
- ※ 22 メモリースティックの「マジックゲート」(著作権保護)機能には対応していません。「メモリースティック Duo」をご使用の場合は、必ずメモリースティック Duo アダプタをご利用ください。詳しくは「メモリースティック Duo」の取扱説明書をご参照ください。
- ※ 23 xD-ピクチャーカードの著作権保護機能には対応していません。
- ※ 24 3.3Vタイプ(または3Vと表示されているタイプ)のみ使用できます。5Vタイプのカードはご使用できません。
- ※ 25 Keitai-de-Music機能(UDAC-MBプロトコル)には対応していませんので、著作権保護機能のある音楽データは取り扱いできません。
- ※ 26 ほかのメディアと同時に使用することはできません。
- ※ 27 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。
- ※ 28 DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2(片面4.7GB)に準拠したメディアに対応しています。また、カートリッジ式のメディアは使用できませんので、カートリッジなし、あるいはメディア取り出し可能なカートリッジ式でメディアを取り出してご利用ください。
- ※ 29 DVD-RAM Ver.1(片面2.6GB)の書き換えはサポートしていません。
- ※ 30 DVD+R 2層書込みはDVD+R DL(2層)ディスクのみに対応しています。
- ※ 31 DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したメディアの書込みに対応しています。
- ※ 32 DVD-R 2層は、DVD-R for DL Ver.3.0に準拠したメディアの書込みに対応しています。

- ※ 33 作成したDVD-R (2層) ディスクについては、弊社製パソコンに搭載されているDVD-R (2層) 対応ドライブでのみ読み出しが可能です。
- ※ 34 DVD-R 2層書込みに対応している添付ソフトは「Roxio DigitalMedia」になります。但し、追記には未対応です。
- ※ 35 DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したメディアの書き換えに対応しています。
- ※ 36 SuperAudio CDは、ハイブリッドのCD Layerのみ読み出し可能。
- ※ 37 Ultra Speed CD-RW メディアはご使用になれません。

本体仕様一覧

MT470/3D、MT400/3A、MT200/3A、MT100/3A

型名			MT470/3D		MT400/3A		MT200/3A		MT100/3A			
型番			PC-MT4703D		PC-MT4003A		PC-MT2003A		PC-MT1003A			
インストールOS・サポートOS			Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 2 ※1									
CPU			AMD Athlon™ 64 プロセッサ 3500+ ※2				AMD Sempron™ プロセッサ 3200+ ※3					
バスクロック	キャッシュメモリ	1次 2次	64KB命令/64KBデータ				256KB					
	システムバス メモリバス		2000MHz 400MHz				1600MHz					
チップセット			Silicon Integrated Systems社製 SiS761GX / SiS965L									
メインメモリ			標準容量／最大容量 ※4				標準512MB ※5 (512MB×1) / 最大2GB ※6 [DDR SDRAM, PC3200対応]				標準256MB ※5 (256MB×1) / 最大2GB ※6 [DDR SDRAM, PC3200対応]	
表示機能	スロット数		DIMMスロット×2 [空き1]									
	ディスプレイ [型番] (詳細はp.84をご覧ください)		F17R6A								—	
	グラフィックアクセラレータ		SiS社製 SiS761GXに内蔵									
	ビデオRAM		64MB ※5								32MB ※5	
	最大表示 (表示解像度)		本体添付ディスプレイ		最大約1,619万色 ※8 (1,280×1,024、1,024×768 ※9、800×600 ※9)				—			
		本機のサポートする表示モード ※10		アナログ ディスプレイ		最大約1,677万色 (1,600×1,200、1,280×1,024、1,024×768、800×600)						
ドライブ	ハードディスクドライブ ※11		約250GB (Serial ATA、高速7,200回転/分)				約160GB (Serial ATA、高速7,200回転/分)		約80GB (Serial ATA、高速7,200回転/分)			
			Windows®システムから認識される容量 ※12		Cドライブ / 空き容量 Dドライブ / 空き容量		約222GB / 約217GB 約222GB / 約218GB		約138GB / 約134GB 約64GB / 約60GB			
	DVD/CDドライブ (詳細は別表をご覧ください) ※13		DVDスーパーマルチドライブ (DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW) 内蔵 (パワファランダーランエラー防止機能付き) [DVD-R/+R 2層書き込み]									
	フロッピーディスクドライブ		— [別売、専用オプション(PC-VP-WU32) ※14]									
サウンド機能	スピーカ		添付の液晶ディスプレイに内蔵 (1W+1W)				外付けステレオスピーカ (0.5W+0.5W)					
	音源 / サウンド機能		PCM録音再生機能 (ステレオ / モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8-48KHz、全二重化対応)、MIDI音源機能 (ソフトウェア MIDI (GM、GS演奏モード対応、DLS2対応15))、マイクノイズ除去機能、3Dボジョナルサウンド									
	サウンドチップ		ADI社製 AD1981B搭載									
通信機能	LAN		100BASE-TX/10BASE-T対応									
	FAXモデム ※16		データ通信：最大56Kbps ※17 (V.90対応) / FAX通信：最大14.4Kbps (V.17)、Resume On Ring 機能対応									
拡張スロット			PCI Express ×16スロット (フルハイト、ハーフ) ×1 [空き1] PCIスロット (ハーフ) ×3 [空き2]									
ベイ			5型ベイ：2スロット (DVD/CDドライブで1スロット占有済) [空き1]、内蔵3.5型ベイ：2スロット (ハードディスクドライブで1スロット占有済) [空き1] ※18									
入力装置	キーボード		PS/2フルサイズキーボード (テンキー付き、ワンタッチスタートボタン付き)									
	マウス		PS/2ボールマウス (スクロール機能付き)									
外部インターフェイス	USB		コネクタ4ピン×7 (本体リア×6、本体フロント×1) [USB 2.0]									
	ディスプレイ		ミニ D-sub15ピン									
	PS/2		ミニ DIN6ピン×2 ※19									
	FAXモデム		RJ11 モジュラコネクタ×2 (LINE×1、TELEPHONE×1)									
	LAN		RJ45 コネクタ×1									
	パラレル		D-sub25ピン×1									
	シリアル		D-sub9ピン×1									
	サウンド関連		ライン入力		ステレオミニジャック×1 (入力インピーダンス 20kΩ、入力レベル 1Vrms)							
			ライン出力		ステレオミニジャック×1 ※21、ヘッドフォン出力と共用 (出力インピーダンス 10kΩ、出力レベル 1Vrms)		ステレオミニジャック×1 ※20、ヘッドフォン出力と共用 (出力インピーダンス 10kΩ、出力レベル 1Vrms)					
			マイク入力 ヘッドフォン出力		ステレオミニジャック×1 (マイク入力インピーダンス 20kΩ、入力レベル 5mVrms、バイアス電圧3.7V) (ライン出力と共用)							
外形寸法	本体 (突起部除く)		7メディア対応カードスロット (SDメモリーカード ※23、メモリースティック ※24、xD-PictureCard ※25、スマートメディア ※26、コンパクトフラッシュ、マルチメディアカード ※27、マイクロドライブ ※28)									
	キーボード		175(W)×420(D)×381(H)mm 491(W)×213(D)×40(H)mm									
質量	本体		約11kg									
	キーボード / マウス		約875g / 約110g									
電源			AC100V ±10%、50/60Hz									
消費電力			標準 / 最大 / スタンバイ状態時				約82W / 約320W / 約5W				約89W / 約326W / 約5W	
エネルギー消費効率 (省エネ基準達成率) ※29			P区分 0.00051 (AAA)				P区分 0.00062 (AAA)					
電圧降下対策			VCCI ClassB									
温湿度条件			10～35℃、20～80% (ただし結露しないこと)									
主な添付品			マニュアル、電源ケーブル、電話回線ケーブル									

DVD/CD ドライブ仕様一覧

シリーズ	ValueOne MT
ドライブ	DVD スーパーマルチドライブ(DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW)内蔵(バッファアンダーランエラー防止機能付き) [DVD-R/+R 2層書込み] ※ 13
DVD-RAM 読出し ※ 30	最大 5 倍速
DVD-RAM 書換え ※ 30 ※ 31	最大 5 倍速
DVD+R(1 層) 書込み	最大 16 倍速
DVD+R(2 層) 書込み ※ 32	最大 4 倍速
DVD+RW 書換え	最大 8 倍速
DVD-R(1 層) 書込み ※ 33	最大 16 倍速
DVD-R(2 層) 書込み ※ 34 ※ 35 ※ 36	最大 4 倍速
DVD-RW 書換え ※ 37	最大 6 倍速
DVD 読出し	最大 16 倍速
CD 読出し ※ 38	最大 40 倍速
CD-R 書込み	最大 40 倍速
CD-RW 書換え ※ 7	最大 10 倍速

上記の内容は本体のハードウェアの仕様であり、オペレーティングシステム、アプリケーションによっては、上記のハードウェアの機能をサポートしていない場合があります。

- ※ 1 添付のソフトウェアは、インストールされている OS でのみご利用できます。Windows® XP Home Edition では、ネットワークでドメインに参加する機能はありません。別売の Windows® XP Home Edition パッケージや別売の Windows® XP Professional パッケージをインストールおよび利用することはできません。
- ※ 2 AMD 社が定めた、QuantiSpeed™ アーキテクチャを採用した AMD Athlon™ 64 プロセッサ 3500+ は、動作周波数 2200MHz で動作しておりますが、従来の設計に基づく 3500MHz の CPU に相当もしくはそれ以上の性能を有します。
- ※ 3 AMD 社が定めた、QuantiSpeed™ アーキテクチャを採用した AMD Sempron™ プロセッサ 3200+ は、動作周波数 1800MHz で動作しておりますが、従来の設計に基づく 3200MHz の CPU に相当もしくはそれ以上の性能を有します。
- ※ 4 他社製の増設メモリの装着は、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は各メーカーにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。
- ※ 5 ビデオ RAM は、メインメモリを使用します。但し、メインメモリ容量が 256MB の場合は 32MB となります。
- ※ 6 最大メモリ容量にする場合、本体に実装されているメモリを取り外して、増設メモリ (PC3200 対応、DDR400MHz メモリ) [1GB] を 2 枚実装する必要があります。増設メモリは、PK-UG-MEO30 (256MB)、PK-UG-MEO38 (512MB)、PK-UG-MEO11 (1GB) を推奨します。
- ※ 7 Ultra Speed CD-RW メディアはご使用になれません。
- ※ 8 本体添付のディスプレイでのデザインにより実現。
- ※ 9 擬似的に画素を拡大して表示しているため文字などの線がぼやけて表示される場合があります。
- ※ 10 グラフィックアクセラレータのサポートする表示モードです。実際に表示できるモードは接続するディスプレイにより異なります。
- ※ 11 1GB を 10 億バイトで計算した場合の数値です。
- ※ 12 右記以外の容量は再セットアップ用領域として占有されます。
- ※ 13 使用するディスクによっては、一部の書込み/読み出し速度に対応していない場合があります。
- ※ 14 2 モード (720KB/1.44MB) に対応しています (ただし、720KB モードのフォーマットは不可です)。
- ※ 15 DLS は「Downloadable Sounds」の略です。DLS を使うと、カスタム・サウンド・セットを SoundMAX シンセサイザにロードできます。
- ※ 16 回線状態によっては、通信速度が変わる場合があります。また、内蔵 FAX モデムは一般電話回線のみに対応しています。
- ※ 17 最大 56Kbps はデータ受信時の理論上の最大速度です。データ送信時は最大 33.6Kbps になります。
- ※ 18 増設によって発生した不具合については保証・サポートの対象外となります。
- ※ 19 本機の PS/2 端子は添付のキーボード、マウスのみ動作確認を行っております。
- ※ 20 外付けスピーカを接続します。
- ※ 21 ディスプレイに添付のオーディオケーブルを接続します。
- ※ 22 周波数特性を保証する値ではありません。
- ※ 23 SD メモリーカードの、著作権保護機能には対応しておりません。「miniSD カード」をご使用の場合には、必ず miniSD カードアダプタをご利用ください。詳しくは「miniSD カード」の取扱説明書をご参照ください。
- ※ 24 メモリースティックの「マジックゲート」(著作権保護) 機能には対応しておりません。「メモリースティック Duo」をご使用の場合は、必ずメモリースティック Duo アダプタをご利用ください。詳しくは「メモリースティック Duo」の取扱説明書をご参照ください。
- ※ 25 xD-ピクチャーカードの著作権保護機能には対応しておりません。
- ※ 26 3.3V タイプ (または 3V と表示されているタイプ) のみ使用できます。5V タイプのカードはご使用できません。
- ※ 27 Keitai-de-Music 機能 (UDAC-MB プロトコル) には対応していないので、著作権保護機能のある音楽データは取り扱いできません。
- ※ 28 ほかのメディアと同時に使用することはできません。
- ※ 29 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語 A は達成率 100%以上 200%未満、AA は達成率 200%以上 500%未満、AAA は達成率 500%以上を示します。
- ※ 30 DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 (片面 4.7GB) に準拠したメディアに対応しています。また、カートリッジ式のメディアは使用できませんので、カートリッジなし、あるいはメディア取り出し可能なカートリッジ式でメディアを取り出してご利用ください。
- ※ 31 DVD-RAM Ver.1 (片面 2.6GB) の書き換えはサポートしておりません。

- ※ 32 DVD+R 2層書込みはDVD+R DL (2層) ディスクのみに対応しています。
- ※ 33 DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0/2.1 に準拠したメディアの書込みに対応しています。
- ※ 34 DVD-R 2層は、DVD-R for DL Ver.3.0 に準拠したメディアの書き込みに対応しています。
- ※ 35 作成したDVD-R (2層) ディスクについては、弊社製パソコンに搭載されているDVD-R (2層) 対応ドライブでのみ読み出しが可能です。
- ※ 36 DVD-R 2層書込みに対応している添付ソフトは「Roxio DigitalMedia」になります。但し、追記には未対応です。
- ※ 37 DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1/1.2 に準拠したメディアの書き換えに対応しています。
- ※ 38 SuperAudio CDは、ハイブリッドのCD Layerのみ読み出し可能。

ディスプレイ仕様一覧

型名	MT470/3D
画面サイズ	17型(スーパーシャインビューEX液晶)
ディスプレイ型番	F17R6A
表示寸法(アクティブ表示エリア)	337(W)×270(H)mm
画素ピッチ	0.264mm
表示解像度	1,280×1,024ドット、1,024×768ドット※1、800×600ドット※1、640×480ドット※1
インターフェイス	DVI-D、ミニD-Sub15ピン、ヘッドフォン出力×1、ステレオライン入力×1
消費電力	約34W
外形寸法	約368(W)×205(D)×379(H)mm
質量	約4.3kg
LCDドット抜け※2	0.00016%以下
備考	ステレオスピーカ(1W+1W)

- ※ 1 擬似的に画素を拡大して表示しているため文字などの線がぼやけて表示される場合があります。
- ※ 2 ISO13406-2の基準に従って、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。

FAX モデムボード仕様一覧

項目		規格
適用回線		加入電話回線
ダイヤル方式		パルスダイヤル (10/20PPS) トーンダイヤル (DTMF)
FAX機能	交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3ファクシミリ装置
	同期方式	半2重調歩同期方式
	通信規格 *1	ITU-T V.17:14,400 / 12,000 / 9,600 / 7,200 bps V.29:9,600 / 7,200 bps V.27ter:4,800 / 2,400 bps V.21 ch2:300 bps
	送信レベル	-10 ~ -15dBm (出荷時 -15dBm)
	受信レベル	-10 ~ -40dBm
	制御コマンド	EIA-578拡張ATコマンド (CLASS 1)
	同期方式	全2重調歩同期方式
データモデム機能	通信規格 *1	ITU-T V.90:56,000 ~ 28,000 bps *2 V.34:33,600 ~ 2,400 bps V.32bis:14,400 ~ 4,800 bps V.32:9,600 ~ 4,800 bps V.22bis:2,400 / 1,200 bps V.22:1,200 / 600 bps V.21:300 bps
	エラー訂正	ITU-T V.42 (LAPM) MNP class 4
	データ圧縮	ITU-T V.42 MNP class 5
	送信レベル	-10 ~ -15dBm (出荷時 -15dBm)
	受信レベル	-10 ~ -40dBm
	制御コマンド	Hayes ATコマンド準拠 *3

* 1 : 回線状態によっては通信速度が変わる場合があります。

* 2 : 送信時は 33,600 ~ 2,400 bps になります。

* 3 : AT コマンドについては、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「AT コマンド」をご覧ください。

LAN仕様一覧

MT850/3A、MT800/3A、MT600/3A

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T使用時：1000Mbps 100BASE-TX使用時：100Mbps 10BASE-T使用時：10Mbps
伝送路	1000BASE-T使用時：UTPカテゴリ5e以上 100BASE-TX使用時：UTPカテゴリ5 10BASE-T使用時：UTPカテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大1,024台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長*	1000BASE-T使用時：最大200m/ステーション間 100BASE-TX：最大約200m/ステーション間 10BASE-T：最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式

*リピータの台数など、条件によって異なります。

MT470/3D、MT400/3A、MT200/3A、MT100/3A

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	100BASE-TX使用時：100Mbps 10BASE-T使用時：10Mbps
伝送路	100BASE-TX使用時：UTPカテゴリ5 10BASE-T使用時：UTPカテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式
ステーション台数	最大1,024台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長*	100BASE-TX：最大約200m/ステーション間 10BASE-T：最大約500m/ステーション間 最大100m/セグメント

*リピータの台数など、条件によって異なります。

●その他のご注意

[著作権に関するご注意]

- お客様が複製元のCD-ROMやDVD-ROMなどの音楽コンテンツやビデオコンテンツの複製や改変を行う場合、複製元の媒体などについて、著作権を保有していなかったり、著作権者から複製や改変の許諾を得ていない場合、利用許諾条件または著作権法に違反する場合があります。
- 複製の際は、複製元の媒体の利用許諾条件、複製などに関する注意事項にしたがってください。
- お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかには、著作権法上、著作権者に無断で使用することはできません。

[DVD/CDの読み込み／書き込みについて]

- コピーコントロールCDなど一部の音楽CDでは、再生やCD作成ができない場合があります。
- CPRM (Content Protection for Recordable Media) の著作権保護機能には対応していません。
- メディアの種類、フォーマット形式によって読み取り性能が出ない場合があります。また、記録状態が悪い場合など、読み取りできない場合があります。
- 12cm CD、DVD以外は使用できません。(8cm音楽CDも再生できます。) ハート型、カード型などの特殊形状をしたCDは故障の原因となりますので使用できません。
- 設定した書き込み、書き換え速度を実現するためには、書き込み、書き換え速度に応じたメディアが必要になります。
- 映像ソフトの再生は、ソフトウェアによるMPEG2再生方式です。NTSCのみ対応しております。Regionコード「2」、「ALL」以外のDVDビデオの再生は行えません。再生するDVDディスクおよびビデオCDの種類によってはコマ落ちする場合があります。リニアPCM (96KHz/24bit) で記録されている20KHz以上の音声信号は再生できません。DVDレコーダで記録されたDVDで、書き込み形式により再生できないものがあります。そのような場合はDVDレコーダの取扱説明書などをご覧ください。
- ライティングソフトウェアが表示する書き込み予想時間と異なる場合があります。
- 作成したDVDは家庭用のDVDプレーヤやDVD-ROMドライブ搭載パソコンで再生できますが、一部のDVDプレーヤやDVD-ROMドライブでは再生できないことがあります。また、メディアやプレーヤの状態により再生できないことがあります。
- ソフトウェアによっては書き込み速度設定において最大速度を表示しない場合があります。

[インターネット電話／インターネットテレビ電話について]

- ご利用の通信事業者、プロバイダ、お客様の環境によってはご利用にならない場合があります。事前に通信事業者やプロバイダにご確認ください。ADSLなどのブロードバンド環境でのご利用を推奨いたします。

[周辺機器接続について]

- 接続する周辺機器および利用するソフトウェアが、本インターフェイスに対応している必要があります。
- 接続する周辺機器によっては対応していない場合があります。
- USB1.1対応の周辺機器も利用できます。USB2.0で動作するにはUSB2.0対応の周辺機器が必要です。
- 他社製増設機器の接続につきましては、動作を保証するものではありません。他社製品との接続は各メーカーにご確認の上、お客様の責任において行ってくださるようお願いいたします。

修理チェックシート

修理依頼日 20 年 月 日

フリガナ		電話番号	ご自宅 () -
お名前			FAX () -
ご住所	〒 -		日中の連絡先 (お勤め先 携帯電話等)

(本体) 製品型番/型名	PC-	製造番号	
(ディスプレイ) 製品型番/型名		製造番号	

A 欄・故障診断用

症状について

① どのような症状ですか？ (できるだけ詳しくご記入ください)

- | | | | |
|---------------------|------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| ① 電源は入りますか？ | ☐ はい | ☐ いいえ | ☐ 時々 |
| ② 本体ランプは点灯しますか？ | ☐ いいえ | ☐ グリーン色 | ☐ オレンジ色 |
| ③ モニタランプは点灯しますか？ | ☐ いいえ | ☐ グリーン色 | ☐ オレンジ色 |
| ④ ファン(通風)は回転しますか？ | ☐ はい | ☐ いいえ | ☐ 時々 |
| ⑤ 「NEC」ロゴは表示されますか？ | ☐ はい | ☐ いいえ | ☐ 時々 |
| ⑥ Windowsは立ち上がりますか？ | ☐ はい | ☐ いいえ | ☐ 時々 |

② その症状はいつから発生していますか？ 20 年 月 日頃から

③ その症状はどんな操作をしたときに起こりますか？

④ 症状の発生頻度を教えてください

☐ 常時	☐ 一日に数回	☐ 週に数回	☐ 月に数回
☐ 年に数回	☐ 不定期的に	☐ 過去に発生した	

⑤ お客様が追加してインストールされたソフトウェアがあれば、メーカー名、製品名をご記入ください

⑥ お客様が増設した周辺機器があれば、メーカー名、製品名をご記入ください
(記入例：メモリ・ハードディスク・プリンタ・モデム等)

⑦ インターネットまたは電子メールに関する故障の場合は使用回線を教えてください

- ☐ アナログ電話回線
 ☐ ISDN
 ☐ ADSL
 ☐ CATV
 ☐ 社内LAN
 ☐ その他〔 〕

①お買い上げ日	20 年 月 日												
②保証書の添付について	☐ 無 ☐ 有												
③修理料金見積りについて	☐ 見積不要(修理連絡なしに修理してもよい) ☐ 見積連絡必要 ☐ 見積連絡不要 ※見積連絡がないので早く修理品を返却できます。 (万 千円以下(税別)であれば連絡なしに修理してもよい)												
④お預りする添付品について	☐ 無 ☐ 有 (<table border="0"> <tr> <td>☐ ACアダプター</td> <td>☐ メモリ</td> <td>☐ 電源コード</td> </tr> <tr> <td>☐ キーボード</td> <td>☐ マウス</td> <td>☐ フロッピー媒体</td> </tr> <tr> <td>☐ CD媒体</td> <td>☐ 保証書</td> <td></td> </tr> <tr> <td>☐ その他 (</td> <td></td> <td>)</td> </tr> </table>)	☐ ACアダプター	☐ メモリ	☐ 電源コード	☐ キーボード	☐ マウス	☐ フロッピー媒体	☐ CD媒体	☐ 保証書		☐ その他 (		)
☐ ACアダプター	☐ メモリ	☐ 電源コード											
☐ キーボード	☐ マウス	☐ フロッピー媒体											
☐ CD媒体	☐ 保証書												
☐ その他 (		)											
⑤ハードディスクの初期化について ※1	☐ 同意する ☐ 同意しない												
⑥ハードディスク内のデータのバックアップについて ※1	☐ バックアップした ☐ バックアップしない												
⑦セットアップメニュー(BIOSメニュー)のスーパーバイザパスワードの設定について ※2	☐ 設定していない ☐ 設定しているが修理を出す前に解除した ☐ 設定しているが「12345」(半角)に変更した ☐ パスワードを教える。[スーパーバイザパスワード]												
⑧Windowsを起動する際のユーザ名でAdministrator権限をもつユーザ名について ※2	☐ 設定していない ☐ 設定しているが修理を出す前に解除した ☐ 設定しているが「12345」(半角)に変更した ☐ パスワードを教える。[パスワード]												

注意事項

- ※1 修理のためにハードディスクの初期化が必要となる場合があります。初期化によりハードディスク内に記録されているお客様すべてのデータおよびソフトウェアが消去されます。
 (パソコン内に登録されたソフトウェアや作成されたデータ、インターネット接続情報、メールアドレスやメール内容、お客様が取り込んだ写真、ホームページお気に入り情報、その他お客様が登録された固有の設定情報など、ハードディスク内の「すべてのドライブ」の「すべてのデータ」が消去されます。)
 従いまして、常日頃からこまめにバックアップ(複製)するとともに、修理に出される前には必ずバックアップをお取りいただくようお願いいたします。
 また、初期化にご同意いただけない場合、修理をすることができずそのままお返しすることがあります。
- ※2 修理に出される前に、必ずパスワードを解除するか「12345」(半角)に変更していただくようお願いいたします。
 なお、ご希望により当社でパスワードを解除(有料)する場合は、121コンタクトセンター(フリーコール 0120-977-121)「故障診断・修理受付」窓口までお申し込みください。NECあんしんサービス便にてパソコンをお引き取りし、パスワードを解除後お届けします。
- ※3 交換部品はご返却できません。修理のために交換した故障部品は、環境保護および長期にわたる修理部品のご提供を目的としリサイクル致します。そのため保証期間に関わらずに故障部品をお客様へご返却する事は致しませんので、あらかじめご承知おきください。

【主なリサイクル部品】

筐体・メモリ・LCD(液晶ディスプレイ)・CRTディスプレイ・ハードディスク★・マザーボード等

★ ハードディスクの扱いについては、第三者がハードディスク内の情報を不当に触れることがないように、厳重な管理体制の下で作業させていただきます。

ハードディスクを交換した場合、お客様のデータ漏洩を防止するための措置(データ消去・破砕)を実施いたします。

索引

121ware.com	21、48	廃棄	78
121コンタクトセンター	21、48	パスワード	60
5型ベイ	20	バックアップ	28
BIOSの初期化	32、58	フリーズ	26、51
CD-ROMの扱い方	23	放電	53
Cドライブ	30	保守サービス	75
DVD/CDドライブ	20、23		
Dドライブ	30	マイクロソフトサポート技術情報	48
FAXモデムボード仕様一覧	85	マウス	52
LAN仕様一覧	86	マカフィー・ウイルススキャン	26
PCリサイクルマーク	78		
RAID	44、64	有寿命部品	75
Windowsタスクマネージャ	51		
アフターケア	75		
ウイルス	26、62		
ウイルスチェック	26		
お手入れ	72		
改造	79		
キーボード	52		
強制終了	51、54		
再セットアップ	25		
再セットアップ用DVD/CD-ROM	40		
サポートナビゲーター	49		
サポート窓口	48		
システムの修復	28		
修理チェックシート	89		
仕様一覧	80		
省電力機能	59		
譲渡	76		
消耗品	75		
砂時計のマウスポインタ	52		
セーフモード	27		
断片化	50		
ディスククリーンアップ	50		
ディスクデフラグ	50		
ディストレイイジェクトボタン	20、23		
データの消去	44		
電源スイッチ	20		
電源の切り方	54		
電源ランプ	20		

異常や故障の場合には

万一、本機に異常や故障が生じた場合には、次のように対処してください。

- ・本機から煙が出たり、異臭がしたりする
- ・本機が、手で触れないほど熱い
- ・本機から異常な音がする
- ・本機や接続されたケーブル類が破損した

すぐに電源を切って電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。
バッテリーパックを取り付けている場合は取り外してください。
※電源が切れないときには、そのまま電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。



* 8 1 0 6 0 1 5 2 5 A *

初版 2006年1月
NEC
853-810601-525-A
Printed in Japan

ValueOne
ユーザーズマニュアル

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1 (ゲートシティ大崎 ウエストタワー)

このマニュアルは、再生紙(古紙率：表紙70%、本文100%)を使用しています。